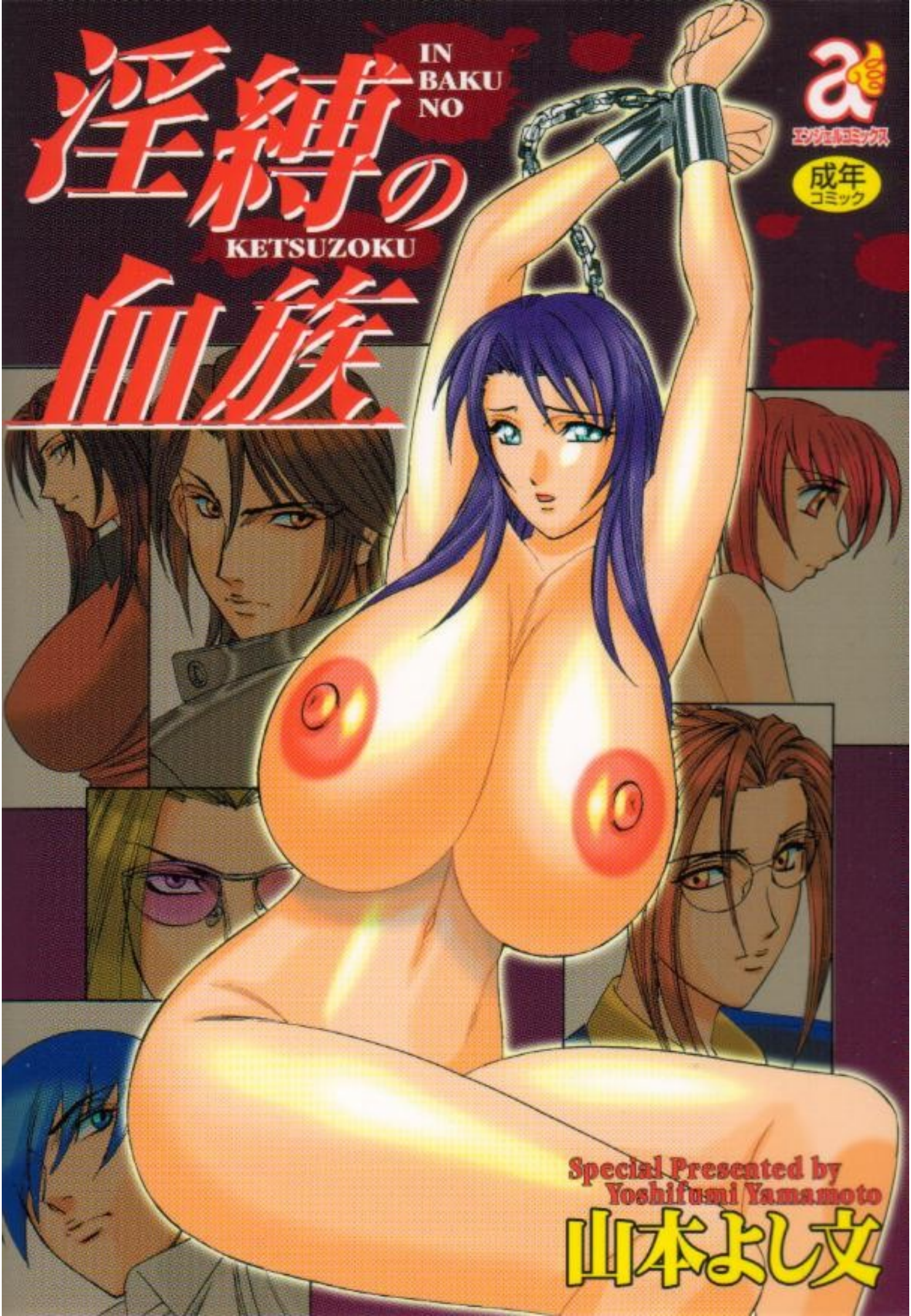
淫縛の血族

IN BAKU NO KETSUZOKU

エンジェルコミックス

成年コミック



Special Presented by
Yoshifumi Yamamoto

山本よし文

淫縛の血族

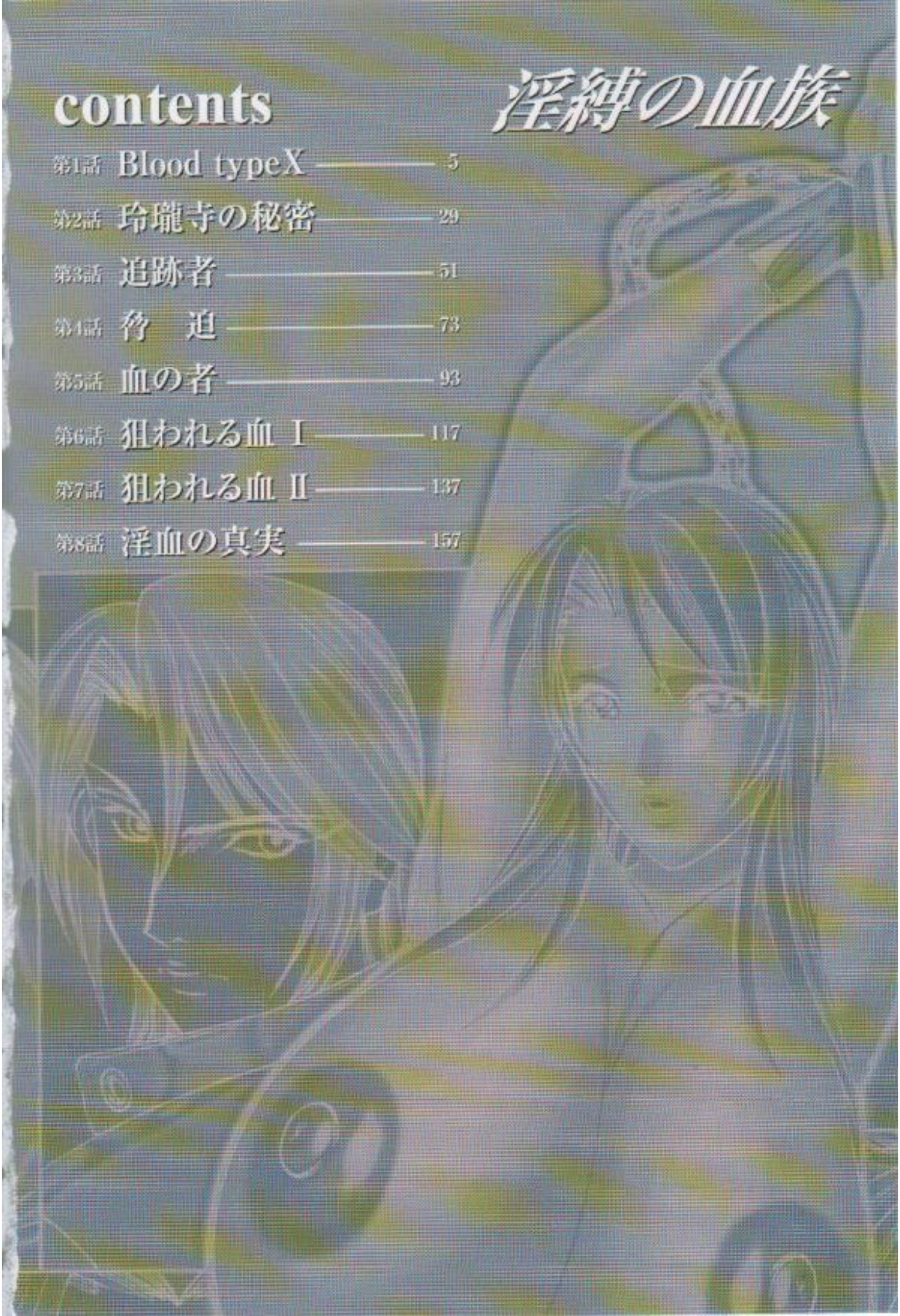
IN BAKU NO KETSUZOKU

山本よし文

淫縛の血族

contents

第1話 Blood typeX ——— 5
第2話 玲瓏寺の秘密 ——— 29
第3話 追跡者 ——— 51
第4話 脅　迫 ——— 73
第5話 血の者 ——— 93
第6話 狙われる血 Ⅰ ——— 117
第7話 狙われる血 Ⅱ ——— 137
第8話 淫血の真実 ——— 157



はああ……
アキ…アキィ
はあ はあ
あぐうううう
くうウウウウ
いいよ
膣に……
膣に
射精してェ
あうゥ
イクゥ
イクゥ

アキ……
お前が……
お父さん……

ヒイイイイ
くちゅ
くちゅ
お兄ちゃん

いたいよォ
アキ兄ちゃん

ひづゥゥゥゥ
くちゅ
くちゅ
やめてェ——

ああ……
ねアキちゃんもうやめて
お願い……
お母さんもう……
くちゅ
ンあああっ
ズク
ズク
ダメエ

この血の連鎖を……
ブル…
れんさ……？

第1話
Bloodtype

断ち切れ

また……
あのムナクソ悪い夢か……

ビクッ

アオイ…

アキ――
メシ買ってきたぞ――

このごろ体の調子が悪いよ
例の夢のせいか？
かもな……
しょーがないよ
アキのお父さんが死んだのが8年前

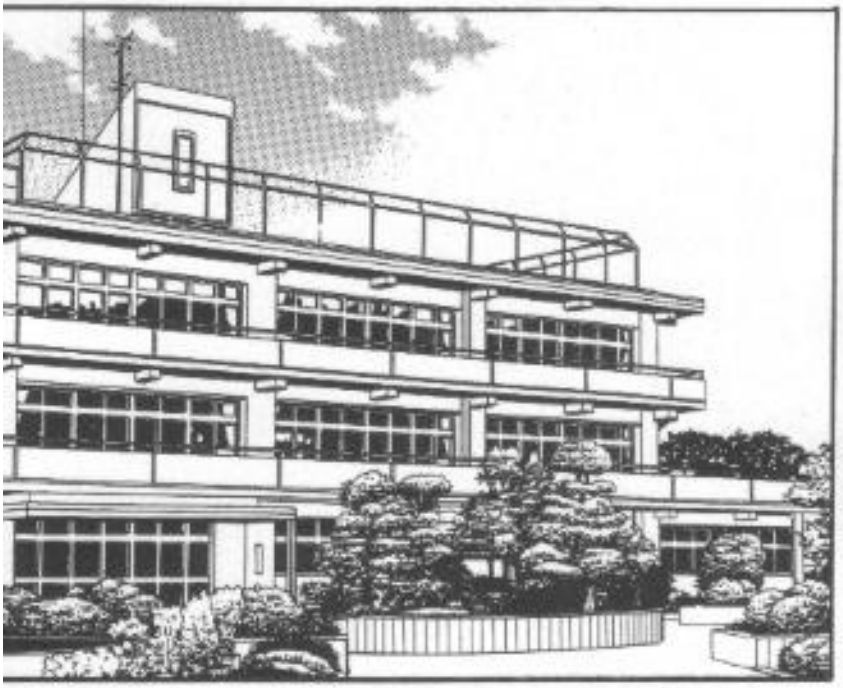
ナイフで首を切って自殺
それもお前の目の前でな

そりゃトラウマにもなるよ
しかし父さんは何を言ってたんだろう……
血の連鎖(れんさ)ってやつか

血っていう
くらいだから
お前の先祖に
関係あるの
かもよ
先祖？

お前の名字の
「玲瓏寺」…
日本にはそう
ないよ
電話帳なり
ネットなりで
調べてみたら
何かわかるかもよ

血……か



そろそろ
時間だ
教室に行こう
キーン
コーン
カーン
ああ……

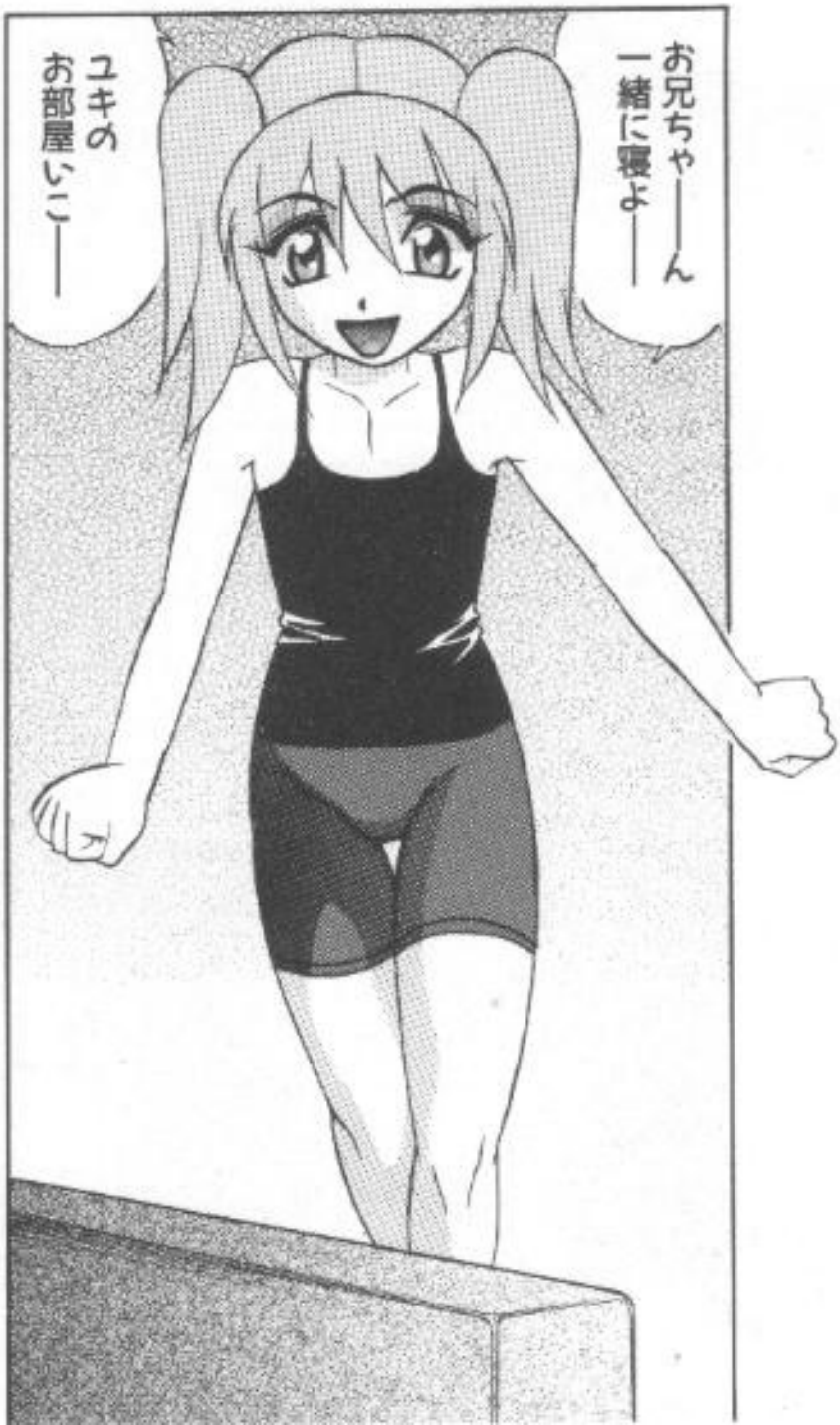
アキ

今日 お母さん
遅くなるみたい
だから
ユキちゃんの
宿題見て
あげて
姉さんは？
私は夕飯の
買い物して
帰るから
母さん
そんなに
遅くなるの
学校の教師も
意外にいそが
しいのよ
ああ
お願いね
アキ

いいなァ
お前の姉さん
胸大っきくて
うっ
ガクッ
おっ…おい
どうした
な……
何でもない
おい アキ
大丈夫か
保健室
行くか？
ヨロッ
いや
いい

ねーね——
いいでしょ——

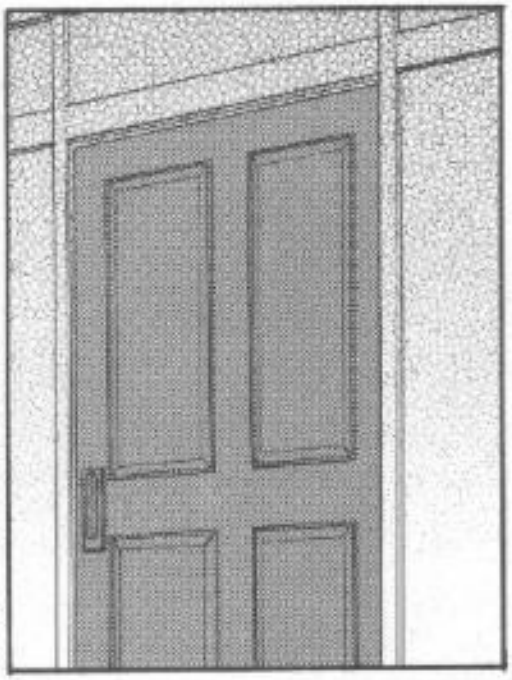
ユキは
四年生だろ
そろそろ
一人で寝るように
ならないとな


お兄ちゃ——ん
一緒に寝よ——
ユキの
お部屋いこ——

そうよ
ユキちゃん
いつまでも
お兄ちゃん
困らせちゃ
ダメでしょ
え――――
母さん 俺 明日
出かけるから
どこ行くのォ～～～
ユキも一緒に
行くゥ～～～～
遠くなんだよ
どこに
行くの？
S県の
大鬼村
ビクッ

そう……
気を付けてね……

ネットでの検索でたった一件だけヒットした
S県の大鬼村に玲瓏寺というお寺があるそうだ
カタ
カタ
カタ



その寺に何があるのかわからない
ただの無駄足になる事も十分にわかっている
ただ 父さんの言葉の手掛(てが)りがあれば……
カチ
カチ
寝るか
うっ

えっ？
イッ

ア…アキ
ガタッ
どうしたの
アキ……
ヨロッ
あうっ
いたいっ
ギュッ
カ…

やめて
アキ
ガタン
キャア
お願い……
乱暴な事
しないで…
舐めろ
えっ
私達
姉弟なのよ

あっ
ボキ
あぐぅ

づっ
づづっ
ぷっ
ぷっ

うぐぅ
ぷっ
ぷっ
うぐぅ

出すぞ

ドッ
ずぶウ
うう……
ビュッ

まだだ
キャッ
ガッ
乱暴にしないで
させてあげるお姉ちゃんとさせたげる
お母さんとユキちゃんが起きちゃうから
ねっ……お願い

これで……
いい……？
あっ……
くちゅ
イヤ……
あうぅ
ダメェ
ヌルッ
イヤァ

はああ
ああああ——
ぐぷっ
ぐぢぃ
ぐぢぃ
アキ まって…
もっとゆっくり
ゆっくり
して
ぐぢぃ
ぐぢぃ
そんなにされても
お姉ちゃん気持ち良く
ならないわ
やさしく…して
そしたら
良くなるから

ンああっ
ダプッ
あっ
いい…いいわ
ダプッ
ずちゃ
あっ
ずちゃ
ああっ
パン!!
お姉ちゃん
良くなって
きたわ……
あくゥゥ
もっと……
もっとォ

アキ……
抱き締めて
抱き締めて
お姉ちゃんに
キスしてェ
ガクッ
ガクッ
ん――
クチュ
クチュ
んん――
クチャッ
クチャ
どうして
こんなに
気持ちいいの……
弟なのに
すごくいいの……
ほかの人と
しても こんなに
良くないのに

こんな事
ダメなのに
ずぢゃ
ずぢゃ
でも…いいの
すごくいいのォ
アキ…アキィ

オッパイも
もっと
いじってェ
ギュ——って
揉んでェ

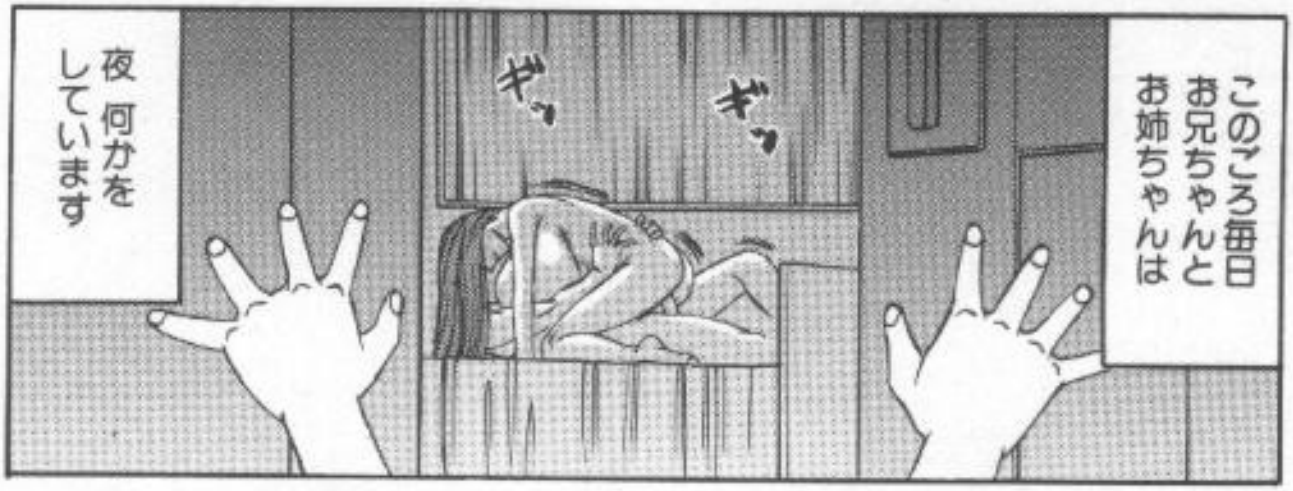
いい……
いいの
すごく
気持ちいい——
ビク
ビク

出すよ
ダ…ダメ
やめて
膣はダメ
外に…外に
出してェ——
あっ…
あついィ——
ビク
ビク
ビク
ビク
ビク
ビク
ビク
ビク

ビクン
ビクン
ビクン
ああ…出てる
アキの精液が
私の膣に……
ビュー
ビュー
まだ出てる
……ダメなのに
すごくいっぱい
出てる……

赤ちゃんが…

できちゃう
のに……
ゴボッ
ゴボッ
第1話☆END


このごろ毎日
お兄ちゃんと
お姉ちゃんは
夜 何かを
しています
ギッ
ギッ

なぜか
お母さんには
言っちゃダメな
ような気がして
でも それを
見ていると
何だか……
はあ
ギッ
ギッ
はあ

イッ……
イク……
アキ……
お姉ちゃん
イク……

第2話

玲瓏寺の秘密

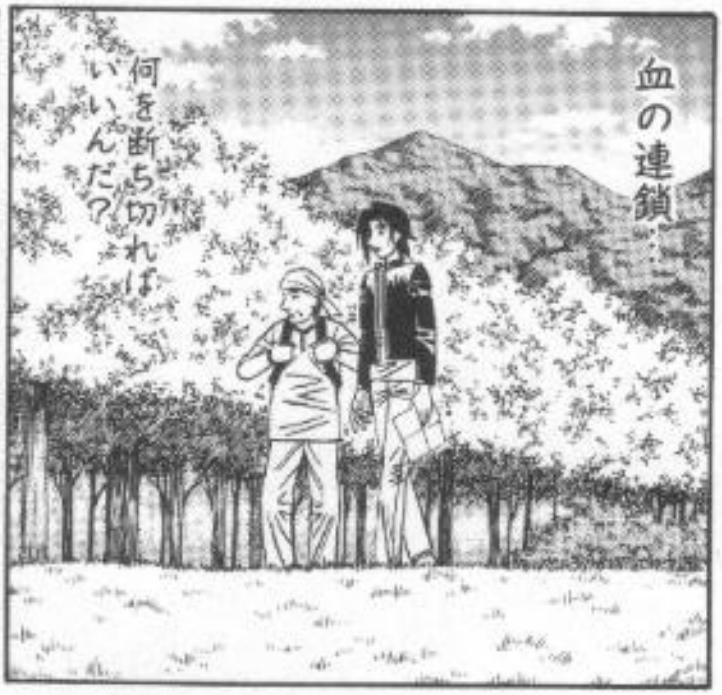
ぎゅ
あっ
ぎゅ
ぶるるぅ
あっ
はあああ

変な……
くちゃ
くちゃ
気持ち……

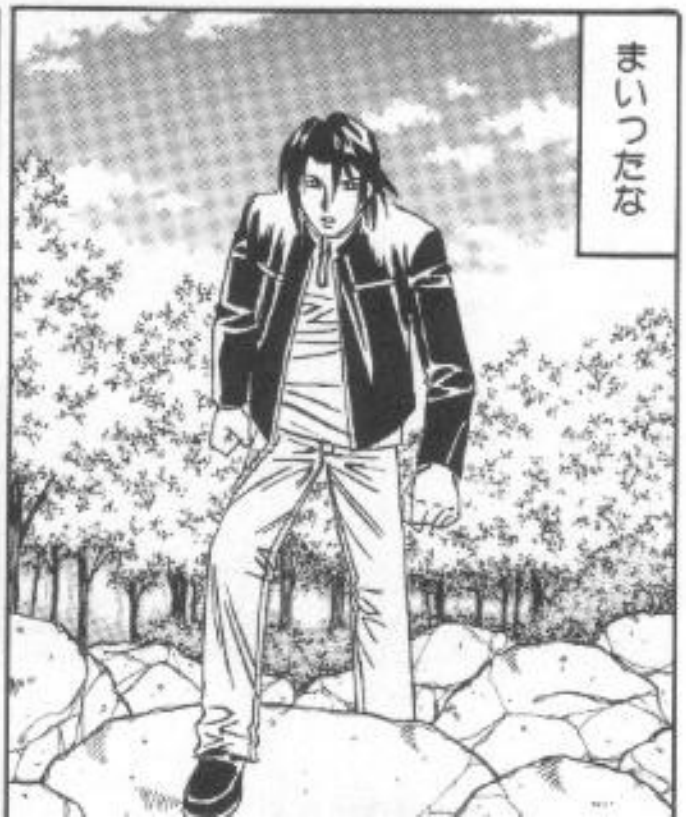
うつくウ

その時のお姉ちゃんは
ぽた
ぽた
すごく……
気持ちよさそう

S県 大鬼村
ここに"玲瓏寺"という
俺と同じ名の寺がある
そこに行けば父さんの
言葉の意味が
わかるかもしれない


血の連鎖…
何を断ち切ればいいんだ?

その手掛りがあれば……
何故父さんは死んだのか…


まいったな

こんな事なら
登山靴でも
はいてくるんだった
まさかこんな
山奥とは
思わなかった

今… 自分に
何かが起きている
ハア
ハア
ハア
頭がおかしく
なっているのかも
しれない それが
自覚できる

姉さんを
強姦した
その時の自分は
自分じゃなかった
ただ姉さんと
したくて その衝動を
おさえきれなかった

異常だと
わかっていながら
姉さんを犯した
ハア
まさかこれも
父さんが言ってた
事と関係が
あるのか……
ハア
ハア

やっと
ついたか
……

ここが
玲瓏寺か
……
何もない
……
無駄足か
……
ここにくれば
何かわかると
思ったんだが
ん？
これは
！

なっ
何だ
これは？

また
いつもと違う
アキが現われる
そして姉である
私はそれを
拒めないでいる

私 一体
どうしちゃったん
だろう
アキのあの目を
見ると何も
言えなくなる
ハア
ハア

んっ
んっ
クチュ

でも… もっと
してあげたいとも
思っている
アキのためなら
何でもして
あげたい……
くぽ
くぽ

……
どうしたのアキ？
ガチャ
ユキちゃん
あっ
アキ兄ちゃん

あ……
ユ…
ユキね……

ぬっ

まって アキ
ユキちゃんは
乱暴しないで
ガシ
するなら
私がするから
私がしてからに
して……
お願い

でないと
ユキちゃんみたいな
小さい子には
かわいそう
だから……

お姉ちゃん
ユキ……
こわいよ
大丈夫
お姉ちゃんの
言う通りにして…
気持ちよくなるから

もう乳首も
ボッキしてるのね
れろォ
ああ…変だよ
何か変だよ

すごい……
もうこんなに
濡れて
ううん
くちゅ
くちゅ

はううう
お姉ちゃん
お姉ちゃん

ここも
舐めてあげる
あっ ダメだよォ
そこオシッコする
トコだよォ
くちゅ
あうっ
はううう
ぬるっ
どけ
まって
もっと濡ら
してから
やさしく……
やさしくして
あげて
グッ
あ……
アキ
兄ちゃん

ひぐうウウウウ
い…いたい……
いたいよォ——
ズボッ
ひいいい
ひぎいいいい
ズボッ
ズボッ
いたいよ
アキ兄ちゃん
ガガ
ガガ
おなかが
いたいよ——

はぐぅ
ガク
ビクビク
ビクビク
はぐぅ
出すぞユキ
えっ？
ビク
ビク
あっ
あついよぉ——
ビク
ビク
おなかの中があついよぉ…
ビク
ビク
ビク

あっ まって
アキ… そっちは
ビク
どろ〜
ビク
おしりは嫌(や)ァ
普通に前で
前でしてェ

ウぐうううう
ぬ〜
ぬ〜
おしりの穴
裂(さ)けちゃう
ダメェェェ

うぐぅ
ぎゅ
ぎゅ
うぐぅ
痛っ…
ぐぢぃ
ぐぢぃ
痛いの
おしりで……
おしりでするなら
やさしくして
本当につらいの
お願い……
ぐぢぃ
ぐぢぃ

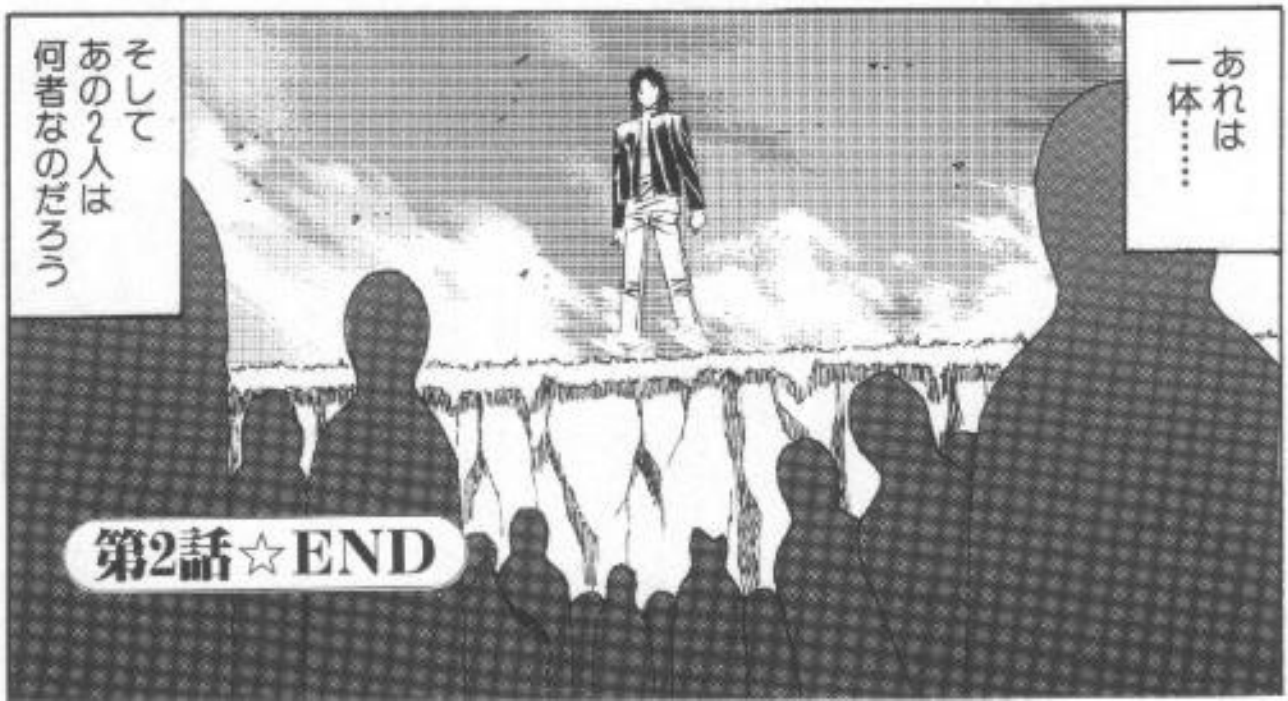
オッパイも
そんなにしたら
ボウ
ムニュ
いっ 痛いわ
アキ……
嘘…オッパイから
ミルクが
ああ……
出ちゃう
ビク
ビク
ミルクが
出そお
出ちゃう
出ちゃう

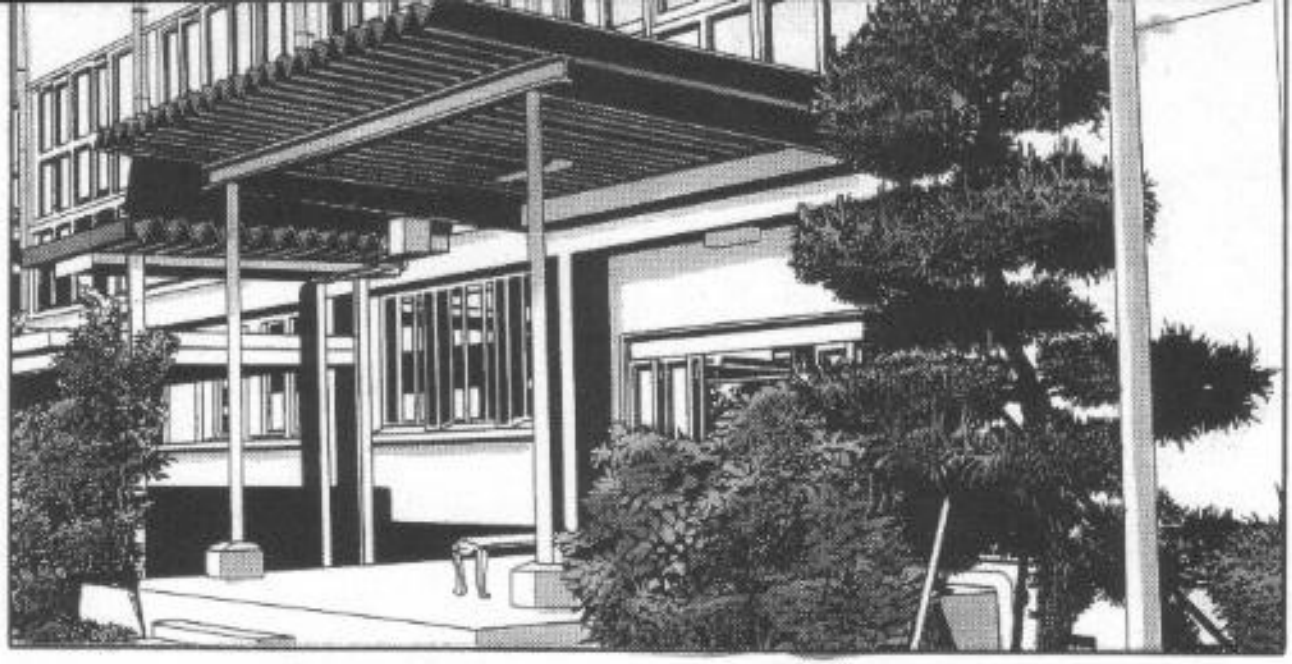
あひいいいいいい
そ…そんな
こんなにいっぱい
オッパイから
射乳しちゃう
なんて……
ビュッ

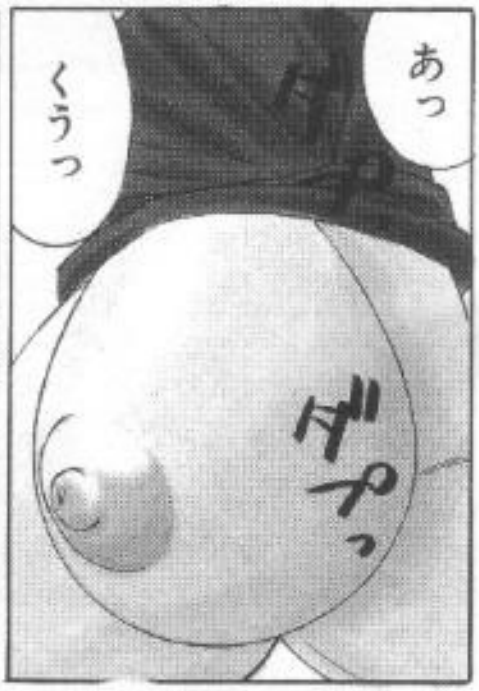
あうううう
パン
パン
あぐううう
ガク
ガク
く…苦しいの
ぐぬっ
ぐぬっ
奥まで
挿入れないで
もうイッて アキ
お願い……
おなかが……
おなかが
苦しいの
ガク
ガク
イッて
イッてェ

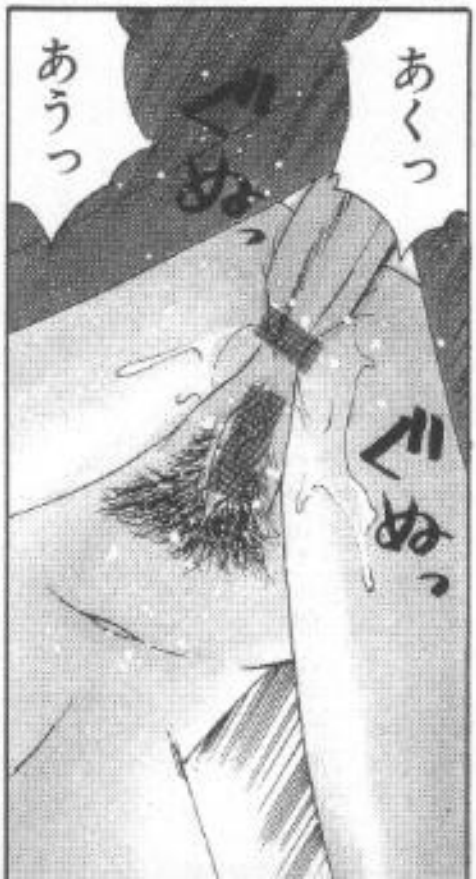
あぐううう

はあ
はあ
その時の俺は
あの異常な光景を思い出していた


あれは一体……
そしてあの2人は何者なのだろう
第2話☆END




あっ
くうっ
ぱっ


あくっ
あうっ
ぬっ
ぐぬっ

誰か……
きたら困る
アキ 学校で
するのは
やめて……ねっ

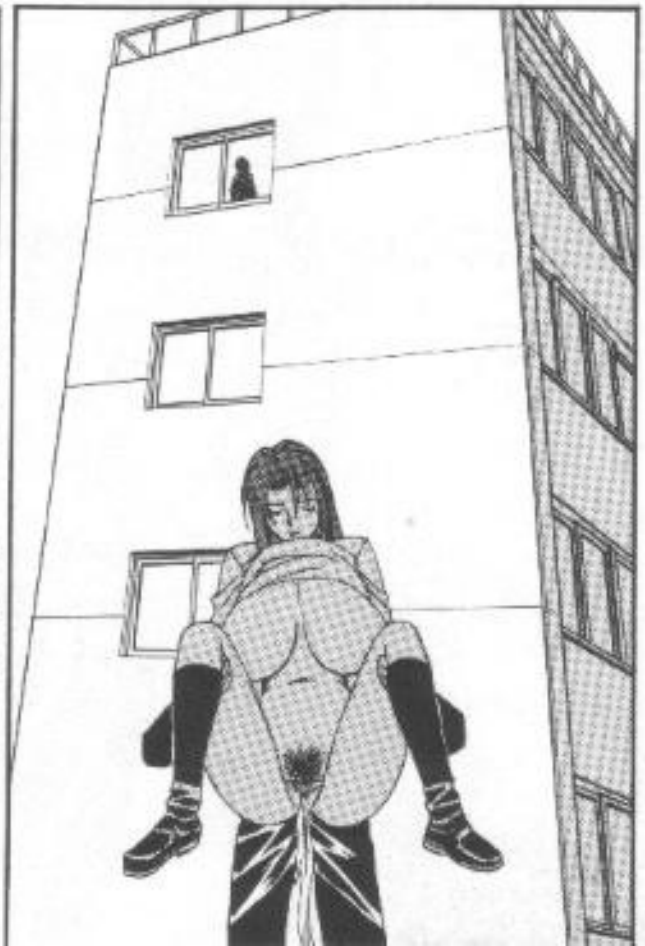
お家に帰ってからしよ
そしたら 何でもしてあげるから
ぬっ
ぐぬっ
ダメだ
ひうっ
もっと……ゆっくりしておしりはまだ
うっ
まだ…あまり慣れてないから
くうっ
ぬっ
ぬっ
あっ…まっちょっとまってアキ
お…おトイレに行かせて……オシッコがしたいの……

こんな所で
できない
ならここでしろ
キャアっ
俺なら構わない
いや……お願い
あっ……オシッコが
も……もれちゃうもれちゃう

第3話
いやあああああ

頭がぼ——っとして
家族に対しての
欲情が抑えられ
ない
俺は壊れて
しまったのか
……

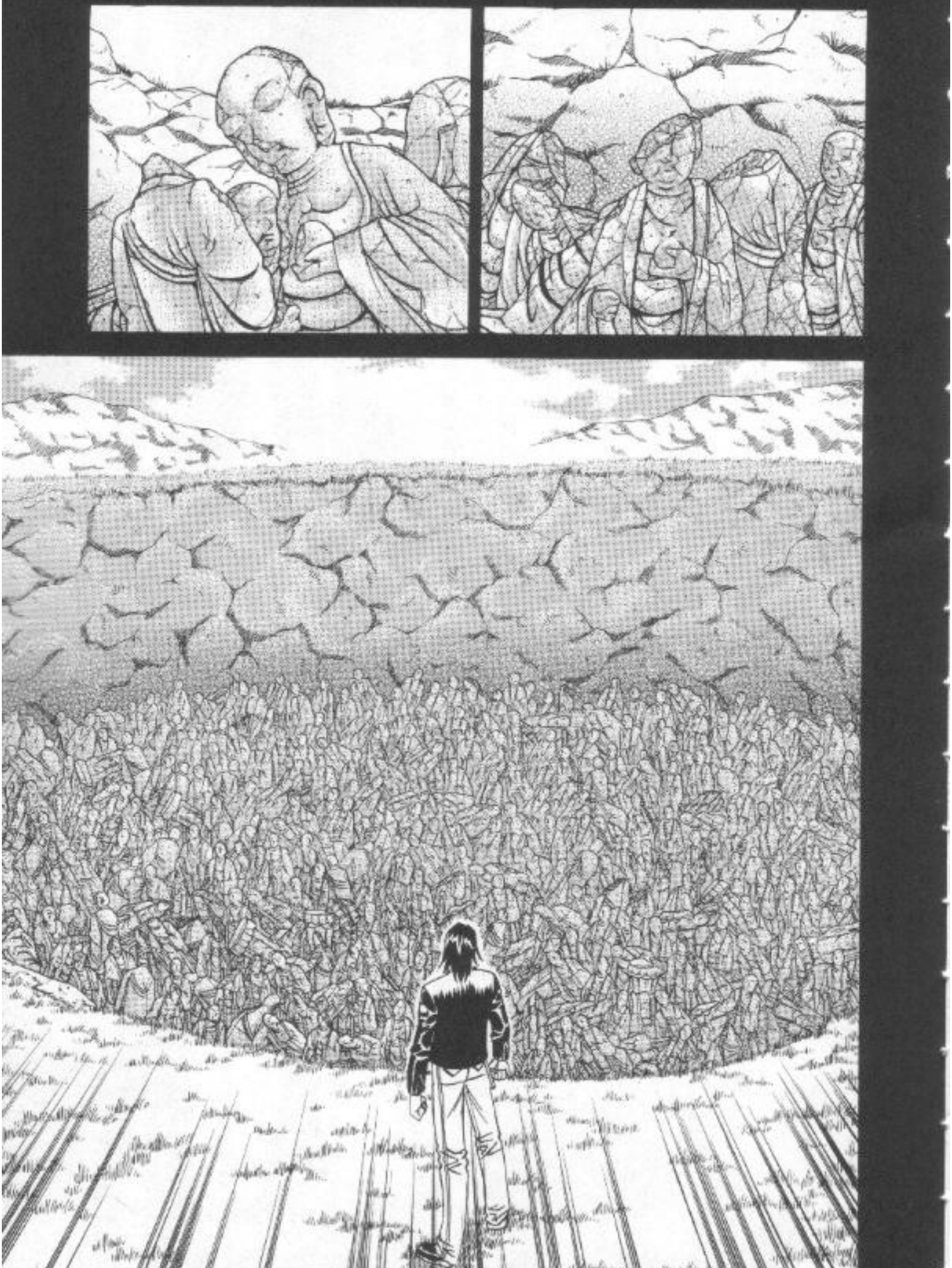
外の女には
何も興味が沸か
ないのに
姉さんやユキ
そして母さんを
犯したくて……
しかたがない



近親性症候群
……
第一段階が
ついに発病
したのか……アキ

調べに行ってきたんだって
どうだった
結局 そこに寺は無かったよ
でも……すごく大きな

まるでそれを覆い隠すように すごく大きな穴があいていて……
なっ
何だこれは？



何でこんなに地蔵が
一体 何体あるんだ?
きいた事があるよ水子塚というヤツだ
水子菩薩と言われる物だよ
子供を供養するための地蔵だろうが
その数は異常だな
なぜそんな物が山奥に
その地蔵群は……
何百年もの間隠し続けてきた
あなたの先祖よ玲瀧寺アキ君
ッ

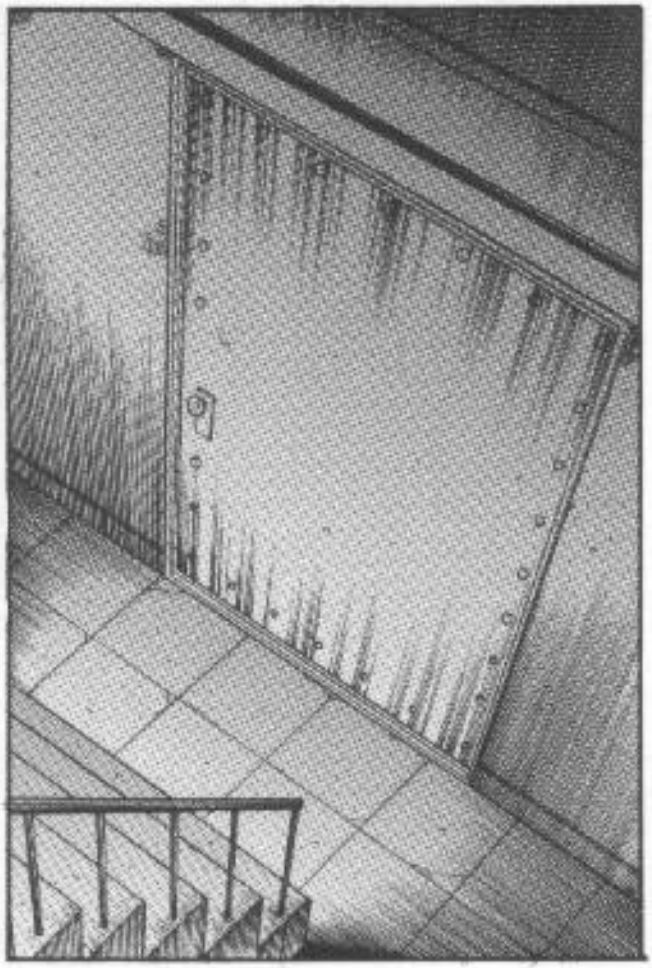
ちゃんとお墓参りにくるなんて
感心ね
あんたら誰なんだ
なぜ俺の名前を
ここでやるのか
まだいいわこの子は始まらないかもしれないし
あの女の人なんとなく母さんに似てる……
一体どーいう事だよ何百年も隠してた墓って
何で人も来ないこんな山奥に

今にわかるわ
あなたの体の変化とともにね
なっ……
何でそれを
ガッ
じゃあまたな
アキそいつら
ガッ
名前とかは言ってないか
言って……な……い
……

あっ 坊ちゃん
お帰りなさい
どうです
様子は

ダメですね
薬でも
喋りません
わかりました
僕が聞き
ます

ギィ



あら……
葵製薬の
お坊ちゃん
あなた何者
なんですか
なぜ 僕の家や
アキの事を調べて
いるんです?
あの子に
人殺しをさせない
タメよ
いろいろ知ってる
みたいですけど
すでに発病している
アキを もう誰も
止める事は
出来ないんですよ

僕ら葵一族は
何百年も 玲瀧寺を
救うために
努力してきた
友達のアキを
助けたいんだ
近代医学で玲瀧寺の
血の連鎖を止める事が
出来るかもしれないんだ
それをあなたのような人に
嗅ぎ回られては困るんだ

フフフ……
何がおかしいんですか
偽善者面もいいトコね
何が友達よ
あんた達は第三段階に入ったアキの遺伝子サンプルがほしいだけでしょ
アキの父親には自殺されて取り損なってるからね
どこまで知ってるのか全部喋ってもらいますよ

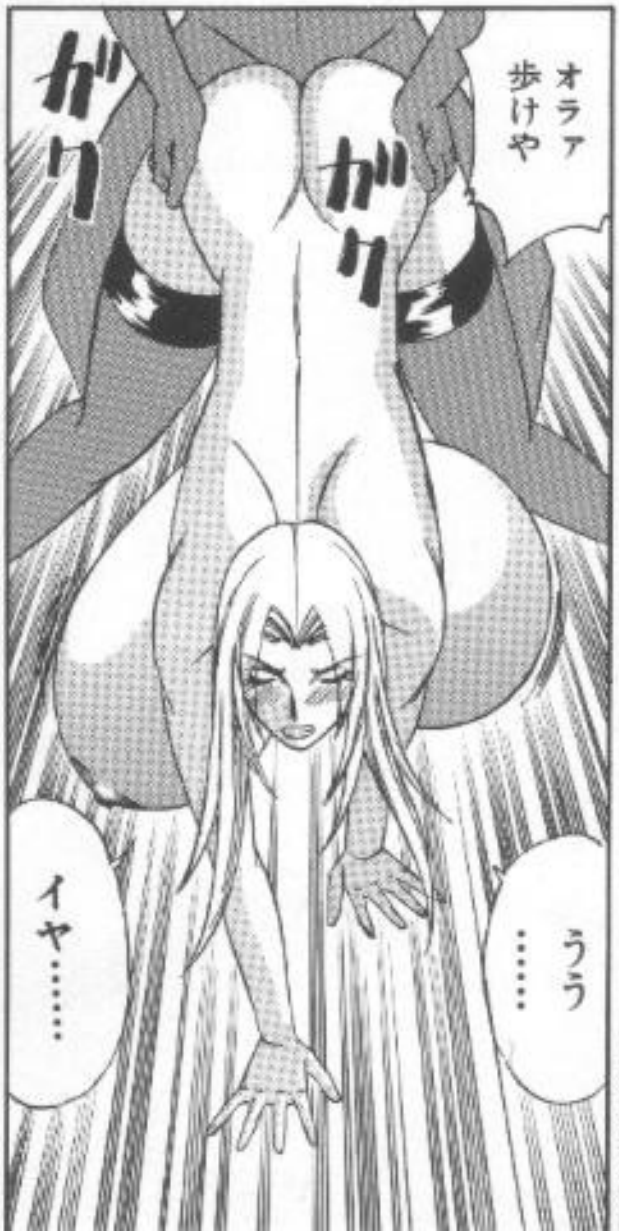
ぐぅ
ぷっ
ぐぅ
ぷっ
くううう
ぐちゃ
ぐちゃ
はぶうぅぅぅ
フ
フ

ふんぐぅ
ダプっ
ぶぴっ
ぶぴっ
うぐぅ——
ぶぴっ
ぶぴっ
出すぞ
うぶぅ
うっ
づづ——

吐き出すんじゃねーー！
くちゅ
くちゅ
ちゃんと全部飲め
ダプッ
ダプッ
うるせーー
あっイヤオシリは……
くっ
んくぅ…
んぐっ…んぐっ

ヒィ……
ドズッ
ドズッ
ヒイイイイ
トズッ

オラ
立てェ
あうっ
グイッ


オラァ
歩けや
ガリ
ガリ
うう
……
イヤ……

どうだ 喋る気になったかァ
グリグリ
ひぐっ
はあああっ
グリ!
どうです 喋る気になりましたか
ハア ハア
だ……誰が
ひぐうううう
そうですか 残念です

ヘバるにゃ
まだ早え――ぞ
ふぐぅぅぅ
ぷっ
ぷっ

ひイっ
ひいいっ
がりッ

ううっ

づっ
づっ

もっと腰使え
ぐぶっ
ぐぶっ
ぐちゃ
ぐちゃ
ふぐぅ
ふぐぅ

オシいくぞっ
イヤ……やめてェ…

イヤアアアアア

あっ……
するっ
あっ
はああ……
するっ
あ……
まだまだ
これからですよ
第3話☆END

何ですか
その態度は

君のせいでクラスの
全員が迷惑するのよ

やる気が
無いなら教室から
出ていきなさい
いえ……

すいません
後で私の所まで
きなさい
話があります

はい……

第4話 軟禁

何で君は授業中に携帯電話やミニゲームをやってるの
もっと勉強に集中しなさい何か理由でもあるの
まあ……
どうしたの何かあったの
俺 すげーモノ見ちゃったんスよ
え？

これなんスけど……
ぜひ先生にも見てもらいたくて
！

アキ……
ヨウコ

そ……
そんな

クックックッ
すごいですよね——

先生の子供……が
毎日 学校でヤリ
まくってんスよ

この前 偶然
見かけたんですけどね

近親相姦ってヤツ
ですよねェ

……この事
知ってるのは

もちろん
俺だけですよ

今どうしようか
迷ってんスよねェ
なっ何を
こんな
おもしれー事
まわりの人間に
教えなくて
いいのかなァ〜って

もったい
ぶらないで
私にどうしろって
言うの
クックックッ
さすが先生
話が早い

俺 前から
先生とやりたかったんスよ
教師に向かって
何て事言うの

別に俺は
どっちでも
いいんスけど
……

ガバッ
ボロン
ブサッ
ブサッ

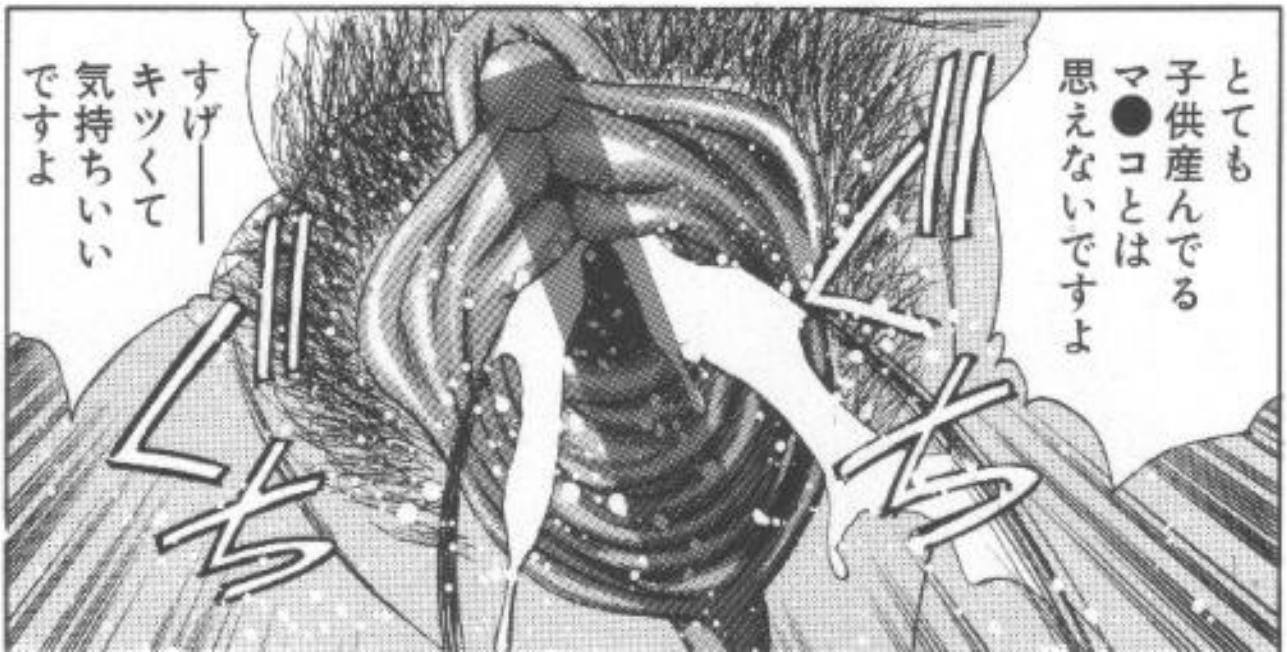
クックックッ スゲ――
本当にデケ――スねェ
先生ェ
うう……
こーするのが
俺の夢だったん
スよ
ギュ
あっ
イヤッ
くうっ
あはははは
最高っスよ
先生のオッパイ

あぐぅ
グリィ
ギリッ
いっ
痛い
咬まないでェ
キャア
ガバッ
くうっ

じゃ先生 服を脱いで机の上に
もうやめて
プリントしてバラ撒いてもいいんスか
こ……
これでいい……

アレ……
あんまり濡れて
ないですねェ
俺とじゃ
気持ち良く
ないです……
ぐちゅ
かっ！
ひいっ
ぬぅ
あくうっ
ンああん

アハハハハ
俺のが先生の
中に入ってるよ
うっ
ズンズン
あんなに厳しい
先生が俺のチ●ポで
ヒーヒー言ってるぜェ
うっ


とても
子供産んでる
マ●コとは
思えないですよ
すげ――
キツくて
気持ちいい
ですよ

どうです
先生ェ
気持ちいいでしょ
俺のチ●ポも
けっこ——
いいでしょ
……
チ●ポ
気持ちいいって
言えよォ!!
ヒイ
ヒイ
写真
バラ撒くぞォ
チ●…ポ
気持ち……
……いい
……
です
そーだろォ
じゃ中に出して
やるよ
イヤ
やめて
それだけは

出ちゃいますよ
先生ェ
イヤ…外に
外に出しなさい
中は…ダメ
中はイヤァァァァ

ああ……
ビク
ビク
ビク
ビク
ビク
ダ……
ダメェ……
ずるっ
ビク
あうっ
はあ
はあ
はあ
はあ
ビク
ビク
ビク
ゴボッ

先生ェ 俺
ケツの穴で
ヤリてースけど
やめて
もう十分でしょ
やりてーんス
けど!
先生
おしりは……
した事
ないの…
メリッ
うるせーなァ
ぐうっ
あっ……
メリ
あぁぁぁぁ
メリ
メリ
メリ

ぬぬ
あひィィィィ
ダプッ
ダプッ
ぬぬ
イヤっ イヤっ
ぬぬ

何でェ
こんなに気持ち
いいのにィ
ガク
ガク
あぐっあぐっ
お腹が
お腹が
苦しい
ぐぬ
ぐぬ
ぬ……ぬいてェ
おしりから
ぬいてェ——
ぬ
ぬ

クックックッ
それもすぐに
慣れますよ
あぅっ
ガク
ガク
ガク
あぅっ
ダッ
ダッ
これから
毎日 俺がやって
あげますよ
イヤ……
もう…やめて

あぐうウウウウウウ

結局 何も喋らない
はあ
はあ
仕方ないですね

この世から……
消えて下さい
第4話☆END

ちゃっ

ねっ……
アキ
もう一回
しよ……
フサッ

んっ

第5話

んんっ
んっ
アキ
きて
クっ

あっ
ああっ
す…
すごい

あっ
ダプッ
ぐちょ
ダプッ
ぐちゃ
ダプッ
ああっ
ダプッ

いい……
いいよォ——
ぬちゃ
ぬちゃ

すごいよ
アキ
すごく深い所まで
きてるよォ
ぐぽっ
ぐぽっ

子宮のトコまで
アキの……
オチ●チンが
挿入(はい)ってきてるよォ

あうっ
はうゥ

もっと……
もっとォ
オッパイも
弄(いじ)ってェ

ああ…アキ
アキィ
ガク
ガク
オマ●コの……
クリトリスも
弄ってェ
ビクッ
ビクッ
オマ●コ
いいよォ——
気持ち
いいよ——
ビュッ
キャア

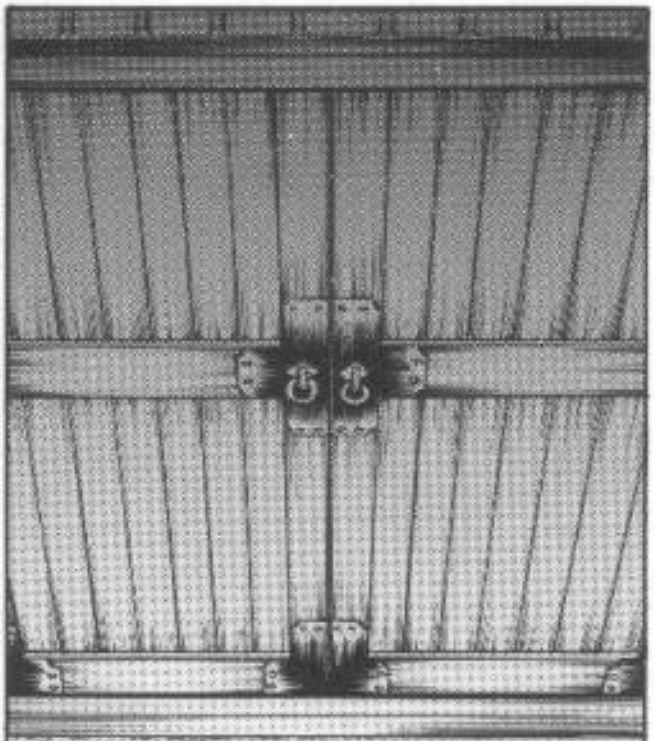
あっイヤァ
オシッコがァ

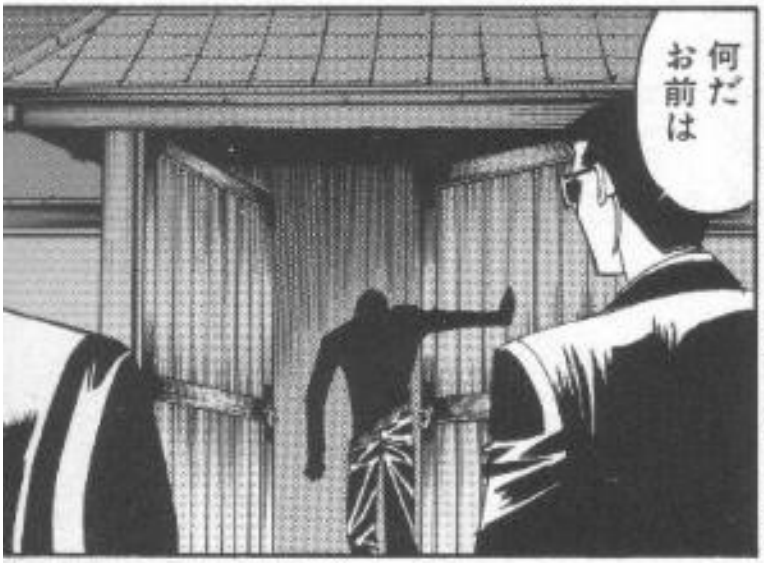
うううぅ〜〜ん
イヤァ……
恥ずかしィ
そんな事
するから
オッパイも
ビク
あっ…出る
…出るゥ
ビク

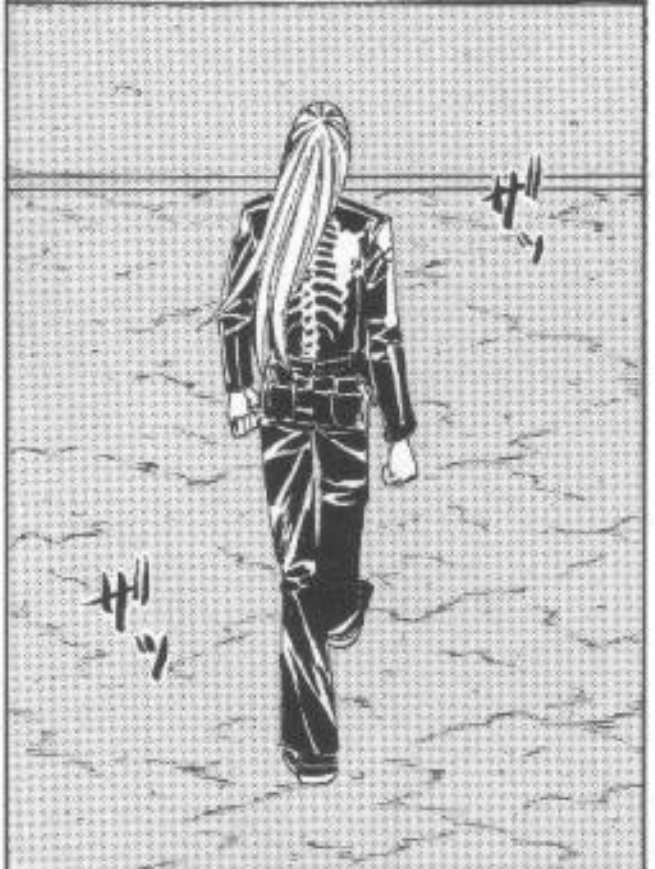
あくうぅぅ
ビクッ
ビクッ
あっあああ

オチ●チンがまた大きく……
イクのね粘液が出るのね
ビク
ビク
イッ
出してオマ●コの奥に
子宮に精液射精して私もイクから……
ビクビクビク
イックゥ〜〜〜

んっ？




何だ
お前は



ニヤ

カリッ
カリッ
女は
どこだ
カリ
リン

……
どうやって入ってきたんですか？
スルッ

あなた達一体何がしたいんですか？
アキとか言うガキを殺す依頼を受けている

そんなナイフじゃ無理ですよ

俺は今まで仕事でヘタ打った事がないんでね
そーいう事を言ってるんじゃない

アキは
死なない人間
なんですよ
もっと正確に言うなら
老化しない遺伝子情報を
持っているんです
遺伝子ィ
少々の怪我なら
驚異的な細胞分裂で
再生しますよ
やって
みなきゃ
わかん
ね――よ

あっアキおはよう
ゴハンすぐ作るね
母さんは？
何か用事があるって先に出たわよ

あっまってアキ
今日は学校行かなくていいよ
そんなの……ダメ…あっ
クッ
イヤッ

ユキちゃんも……あっ……
いるのよ……やめて
ガチャ
ガチャ
ヤコ
ハシャーン
ユキも休めばいい
ハア
ハア
ガチャ
ガチャ
あっ
くちゅ
くちゅ
ああん
んっんん
くちゅ
くちゅ
んふうんん
くちゅ
くちゅ
ヤコ
ハシャーン
くちゅ
くちゅ

ん――
ん――
クチュ
クチュ
ねえアキ兄ちゃん
こうでいい？
こうすると
気持ちいい？
レロ
レロ
ユキのに入れて
いいよ
アソコは まだ
オチ●チン全部
入んないけど
オシリの穴なら
大丈夫
オチ●チンが入るように
練習してたから……
クッ

入れるぞ
あっ
グッ
ああぁ……
ぬぬぬ
う……
うん
あぐぅぅぅぅぅ
くぬぬぅ

ひぎいいいいい
ぬ
ぬ
オチ●チン…全部
入ってるよォ

はぐゥ
ぬ
ぬ
ぬ
ひぐゥ

お腹の奥まで
入ってるのが
わかるよォ
アキ兄ちゃ——ん

……寺の……者よ……

ああ…好きィ
好きよアキィ
くちゅ
くちゅ
ああ…いいの
お姉ちゃん アキに
されるのが一番いいのォ
ぬぷっ
ぬぷっ
もっとチ●ポで
突いてェ——

あぁん
あぁん
アキ兄ちゃん
アキ兄ちゃん
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ

アキ…アキ
イッて…イッてェ
お姉ちゃんの
オマ●コの中に
射精(だ)してェ——
ダッ
ダッ
ダッ

イクイク……
おなかが……
おなかの奥がァ
イックゥ——
あつぅいィ——

玲瓏寺の…
血の者よ……

だっ…

誰だ

俺の……

事……か？

ゴボッ

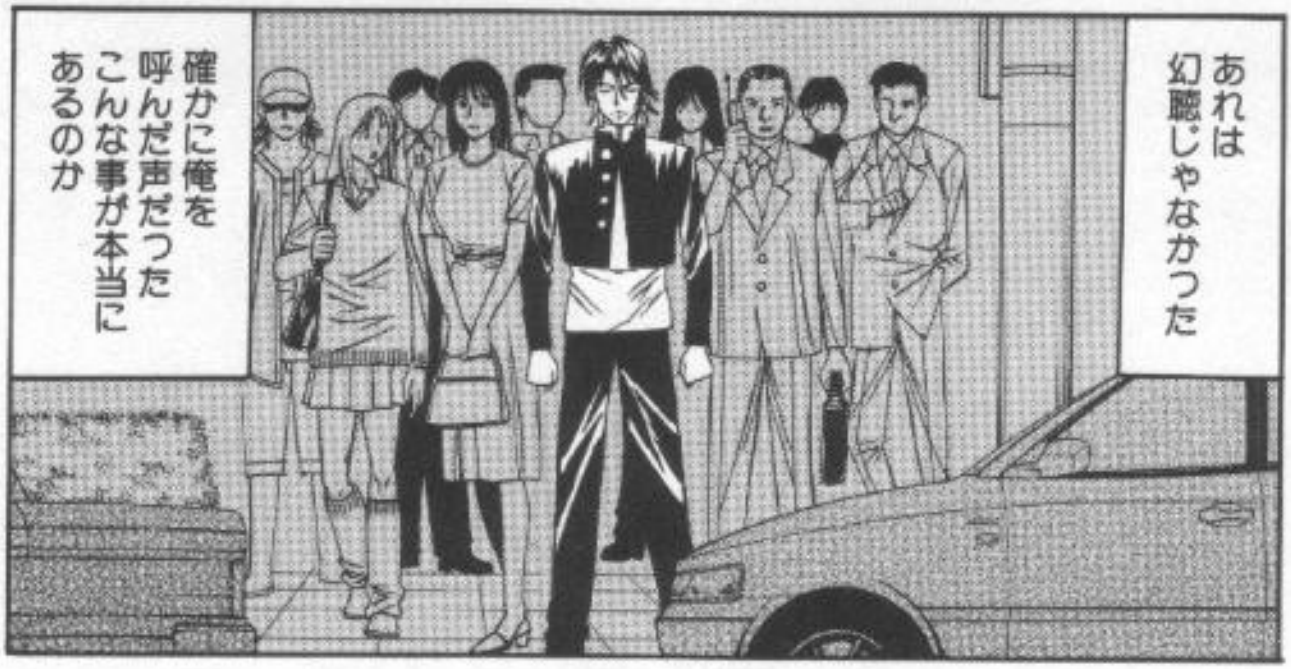
そうだ
血の末裔よ

誰だ
あんたは
――
何故俺を
呼ぶ？

我の元へ……

玲瓏寺の祖
…我の元へ…
血の末裔よ……

第5話☆END

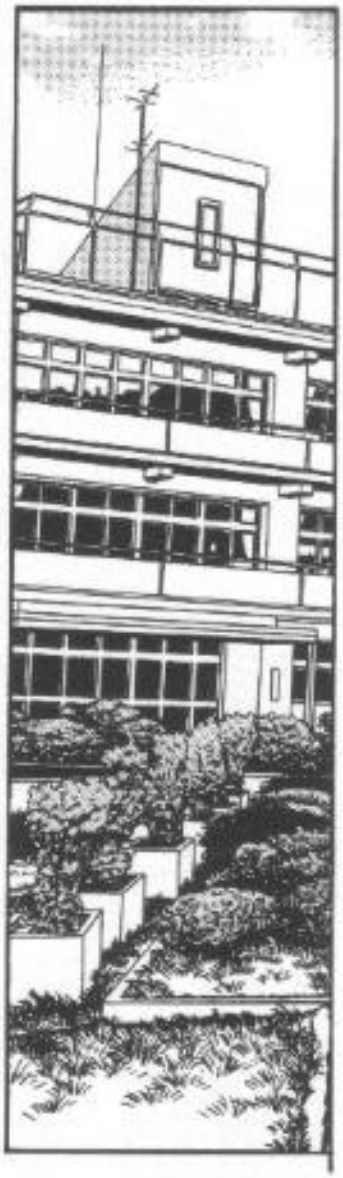

あれは
幻聴じゃなかった
確かに俺を
呼んだ声だった
こんな事が本当に
あるのか

「我の元へ」
一体どこに
行けと言うんだ
こんなバカな話
誰にも相談
できない

俺はこれから
どうすれば
何をすれば
いいんだ

トン…
えっ

第6話
狙われる血 I



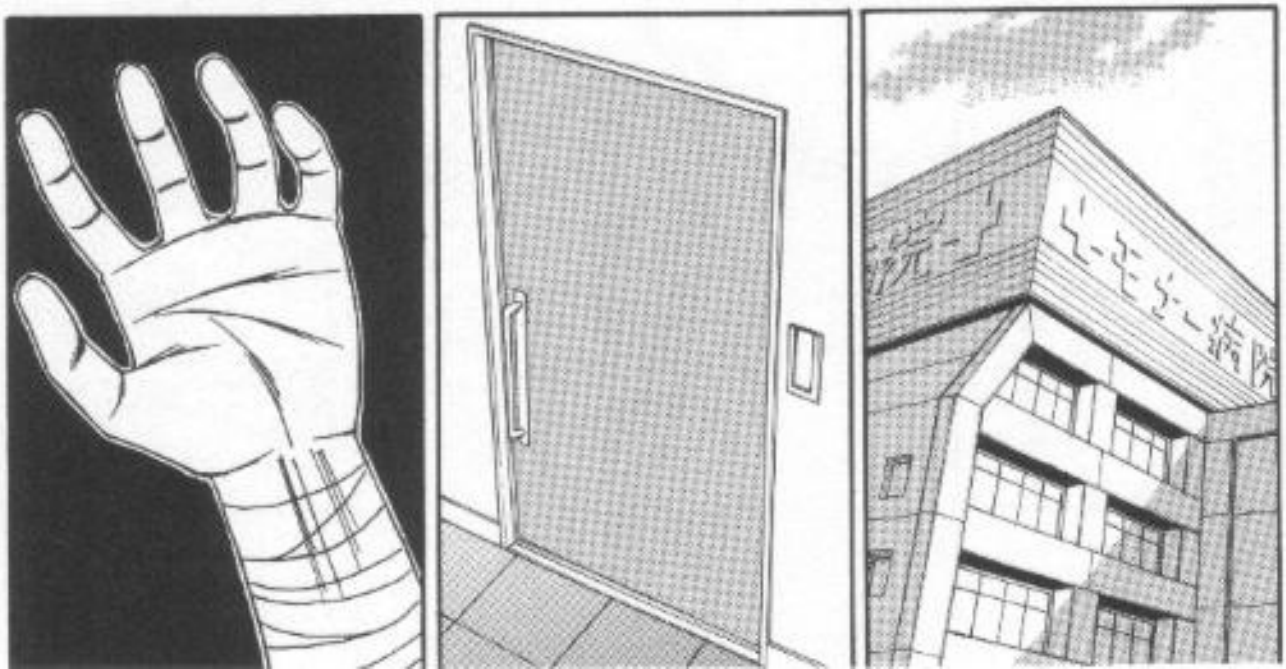
プルルルル
ピッ
はい
もしもし
あっ
父さん
どうしたの

えっ
アキがァ

今は病院だが後でこちらの研究所の方に搬送される予定だ
一連の検査をしたのち……

サンプル採取のため
アキ君を

冷凍保存する



よかったわね
たいした事なくて
おかしい……
あの事故で
こんな軽いケガの
はずがない
もうどこにも
痛みがないなんて
不自然だ
母さん……
もしかして母さんは
何か知ってるんじゃ
ないの
こんな事
どう考えたって
ありえないよ
な……
何を言って
るの
母さ
うっ
カリッ
どうしたの
アキ
大丈夫
……
母…さん

あ……
アキ
ユサッ
母さん

母さん
したいよ

どうしたのアキ
赤ちゃんに
もどったみたいよ

どうしたの
一体
あっ…
ダメ
ギッ
ギッ

ああ…あっ
ダメ…イヤ
グイッ♥
やめてアキ
こんな事
よくないのよ
ああ…あっ
ダメ…イヤ
グッグッグ

ああっ
ダプーン

イヤ…
よして
ケツッ
ユサッ
ダメよ

そんなに
……
ぐぐ
んあっ
吸ったら
ポン
ダプーン
あううん

あっ ちょっと
まって アキ
バフ!
ああ…

ああ…こんなに
大きなオチ●チン
したいのね……
母さんとセックス
したいのね
いいわ……
母さん アキのため
なら何でも
してあげる

んん……
ぷっ
ぷっ
んんっ
出るよ……
母さん…
ビク
ビク
くっ
あンっ
ああ……
アキのザーメン
おいしい……
ゴクゴク

アキはケガ人なんだからそのままにしてて
母さんが上になってしてあげるから
ギシッ
んっ
クッ
んん……
ぬぬぬ
あっ
あうううう

はあああ
あふうう
ああ……
ああ…気持ちいい…何で実の息子なのに……
あの時と同じだわ17年前のあの時と…
ぐちゅ
ぐじゅ
ぐちゅ
ぐふっ

あっ…あ
あおおお
ンおお…もっと
もっとついて
いいのよォ
ダプッ
ぐちゃ
ダプッ
ぐちゃ

ンあおおお
…気持ちいいわ
親子でこんな…
ああ…でも
でもォ
ダプッ
ダプッ

イク…イクっ
ビク
ビク
ヤ
くうううう

母さん 今度はおしりでしたいよ
え
ど……
どうしてもしたいの？
わかったわ
アキのしたい事はみんなさせてあげる

ひっ…
ひぐうウウウ
ぬぐぐぐ

アキ……
オマ●コも…
くひいいいい
気持ちいい？
母さんのアナル
気持ちいい？
母さん アキのためなら
これからどんな事でも
してあげる……
ぬぐ!!
ぬ
母さんの
オマ●コも
いじってェ

アキ…前で……
オマ●コで射精して
パン
パン
ダッ
母さんもオマ●コなら
イケるから……ねっ
ダッ

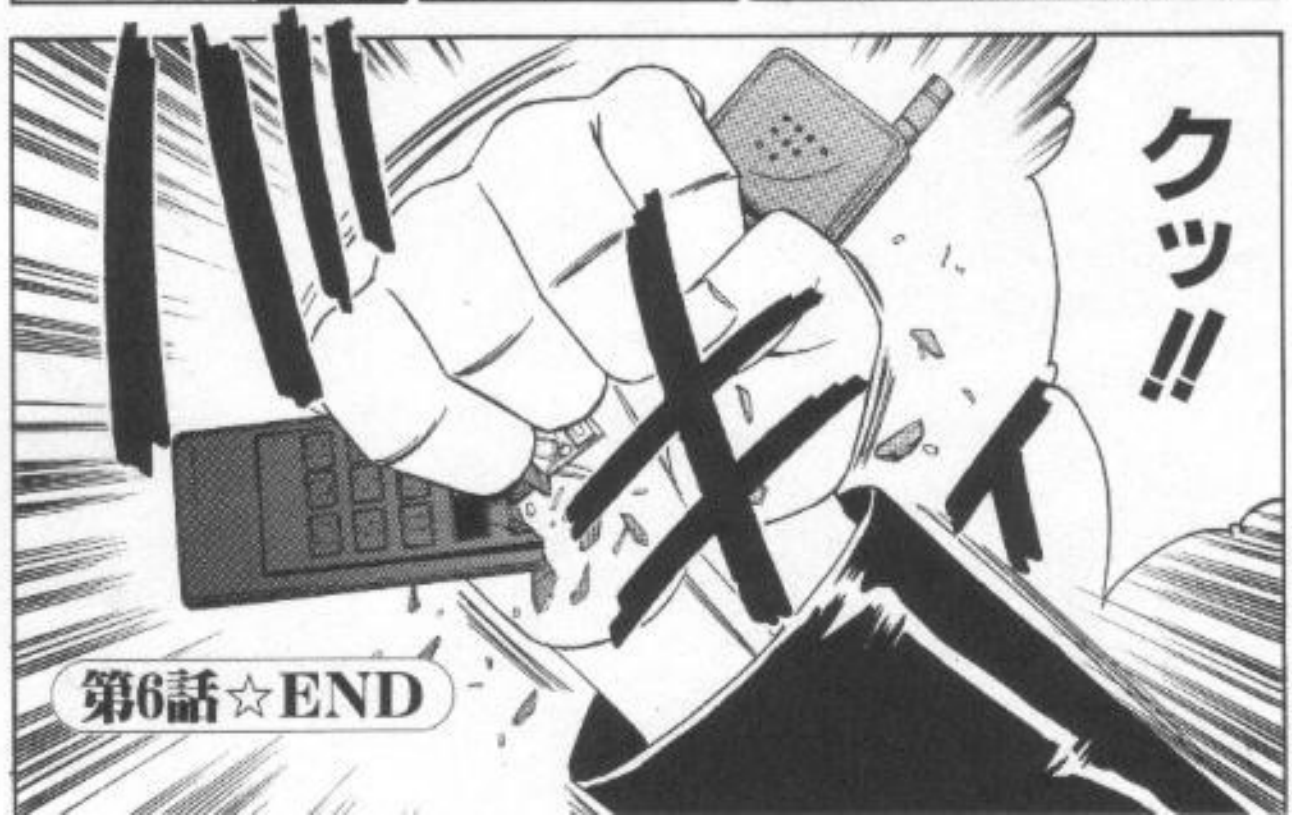
こうでいい
あひぃ

イクよ……母さん
じゅぶ
じゅぶ
じゅぶ
じゅぶ
イって…一緒に母さんとイってエエエエ

ンあああああ

すごい……
すごくいっぱい
精液が出てる
子宮の中に
アキの精液が
いっぱい入ってくる
ビク
ビク
ビク
ビク
あっ…
ずるっ
ビクっ
はあああ……
ごぽっ

俺だ……
半金の500万振り込んでおけ
何イ
まだ生きてるだとぉ
今ごろは葵製薬の研究所よ
あそこに入れられたらあなたでもむずかしいわよ
この俺が……


クッ!!
第6話☆END

アキは……
死なない人間なんですよ

あの事故でこんな軽いケガのはずがない
どこにも痛みがないなんて不自然だ

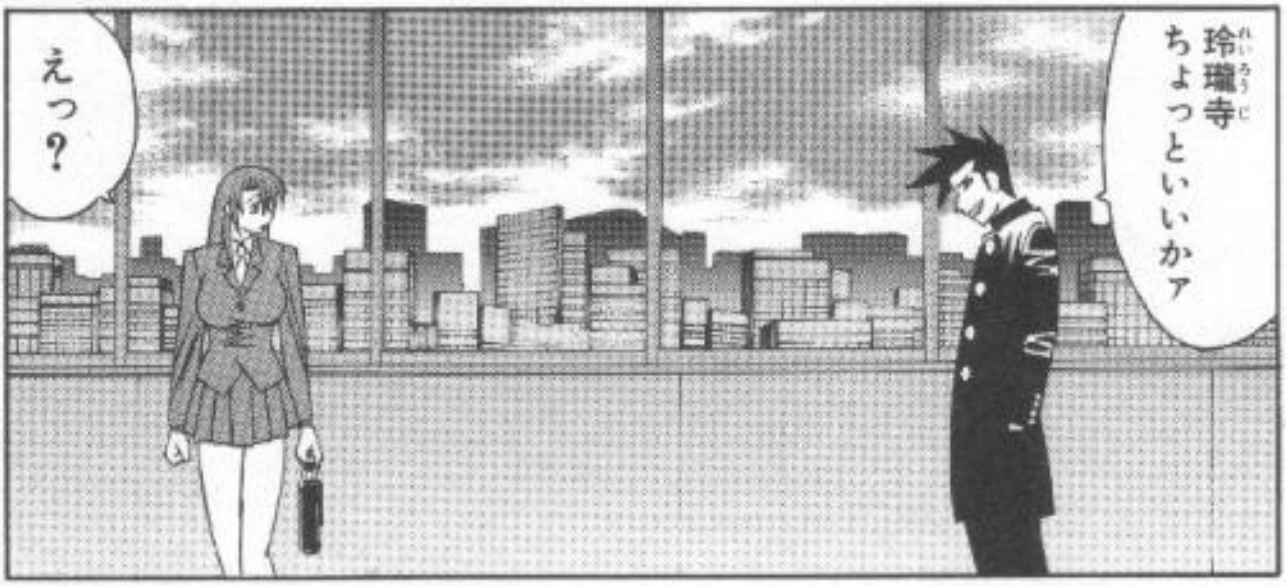
ほぉ……
やってみなきゃわからねーだろ

サンプル採取のためアキ君を
冷凍保存する

いいんですかねェ学校でこんな事やって
しかも先生の子供が……

ガシャッ
ガシャッ

第7話 狙われる血 II

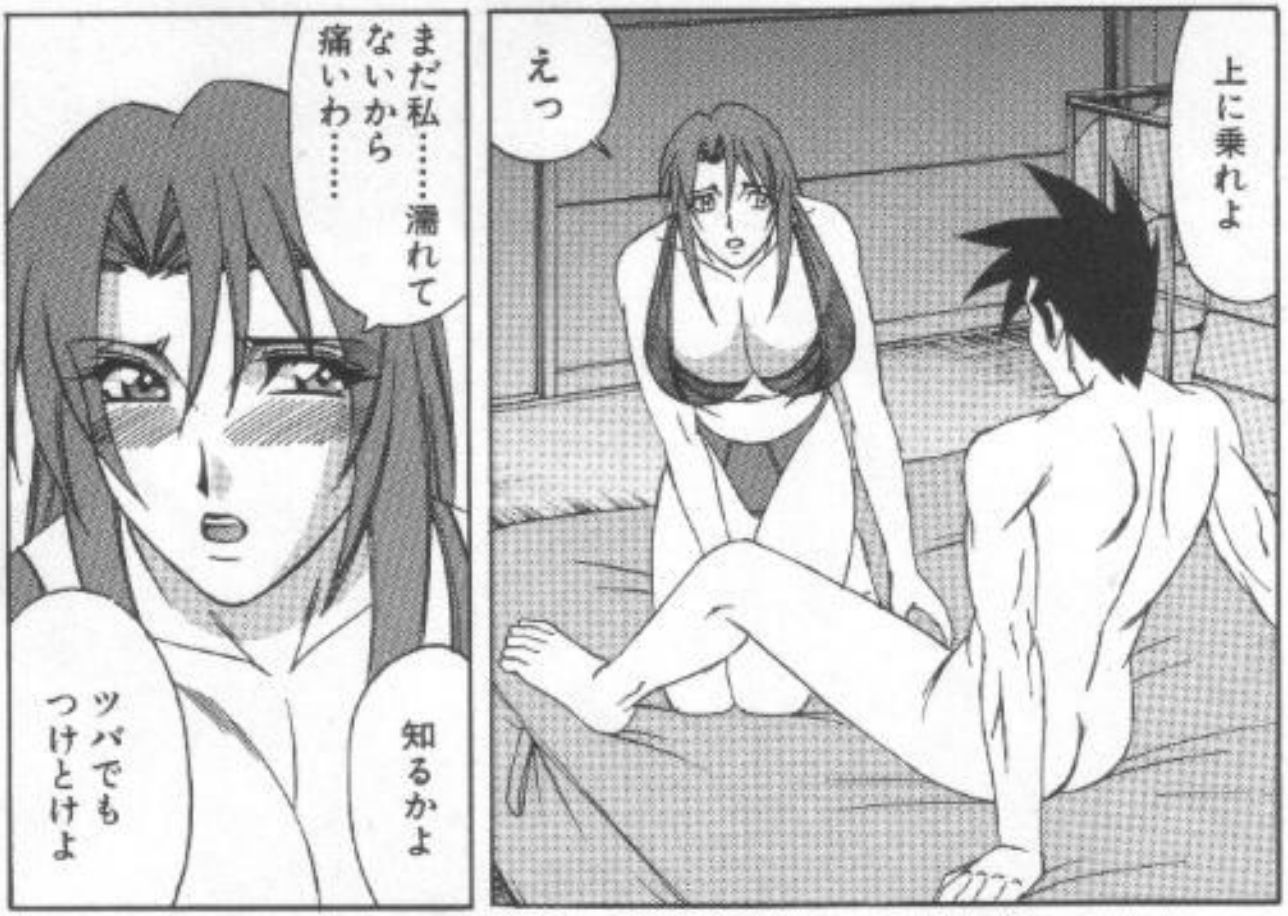

玲瓏寺
ちょっといいかァ
えっ？

話が
あんだけど
悪いけど
明日にしてくれない
これから病院に行かないと
すぐすむって
こいよ

話って何なの
早くしてよ
お前にとっちゃ
悪い話か
これ
見ろよ
ビリ
!
こ…これ
クックックッ
お前ら姉弟(きょうだい)で
よくやるよなァ
何が
言いたいの

やらせろよ
あっ
黙っといて
やるからよ
わ……
わかったわ
約束して
誰にも言わ
ないって……
クックックッ
いいぜ
んっ
んっ

クックックッ
フェラうめーじゃ
ね――か
こりゃそーとー
やり込んでんなァ
えーおい
くぽっ
くぽっ
んっ
んっ
オラ 玉裏も
舐めろよ
グイッ
うぐっ
はあ…
あうゥ
れろ


上に乗れよ
えっ
まだ私……濡れてないから痛いわ……
知るかよ
ツバでもつけとけよ

うっ……
ううう
そうそう俺によく見えるように
ズチュ
ズチュ
グチュ

はぅヴ〜〜〜
ぬぬぬぬ
ぬぅ
づ〜〜〜
オラ
動くぞ
ひいっ
あっあう
まっ……
待って
ずずず
いっ…痛い

あっイヤァ
ああっ
でけームネだなァ
弟にも揉ませてんのかァ
イヤァ
やめて
グイッ

何がイヤだよ
ギリィ
ひぃイ

お願い…痛いのはやめて…
気持ち良くならないわ……
チッ
なら自分から動けよ
お前 重てーんだからよ——
はい…

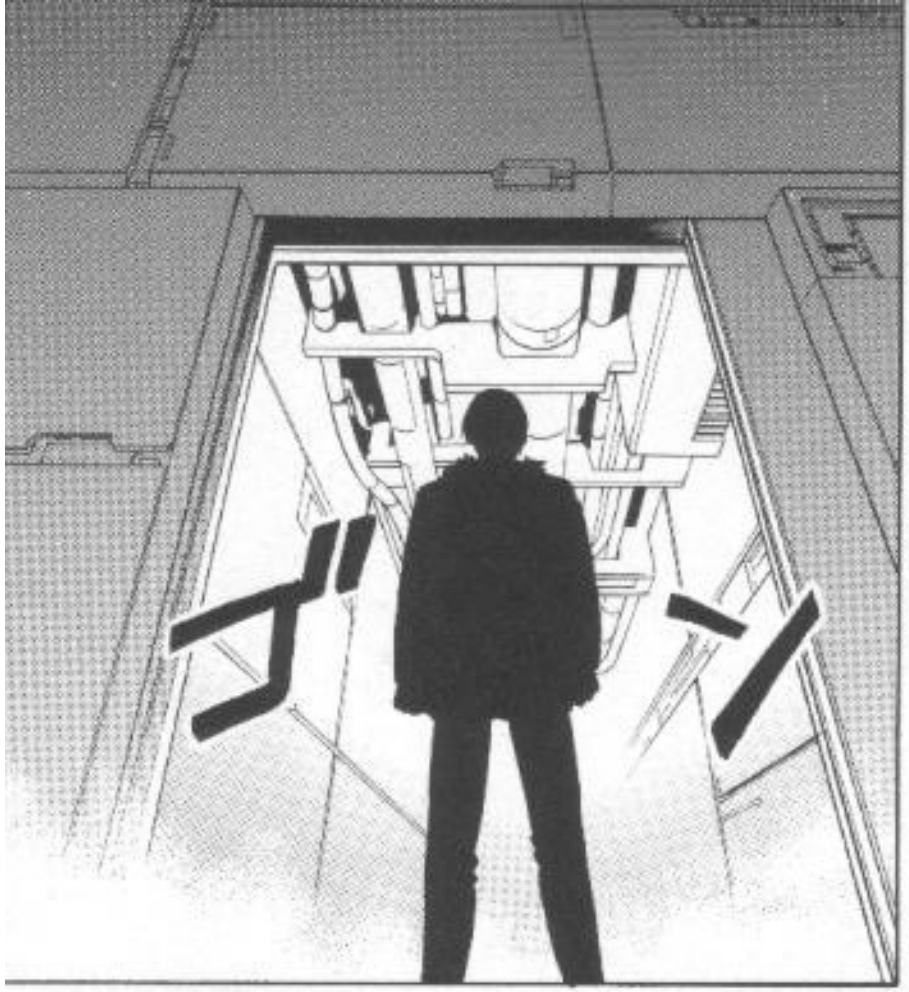
はあああっ
くちゅくちゅ
あううう
あぐぅ
ダブッ
ダブッ
くぅぅぅ

あ――もうガマンできね――出すぞ
や…やめて中はイヤ
外に…お願い外に出して
うるせ――よ
ああイヤァ――…出てるゥ……
ビュー
ビュー
出しちゃイヤァ――

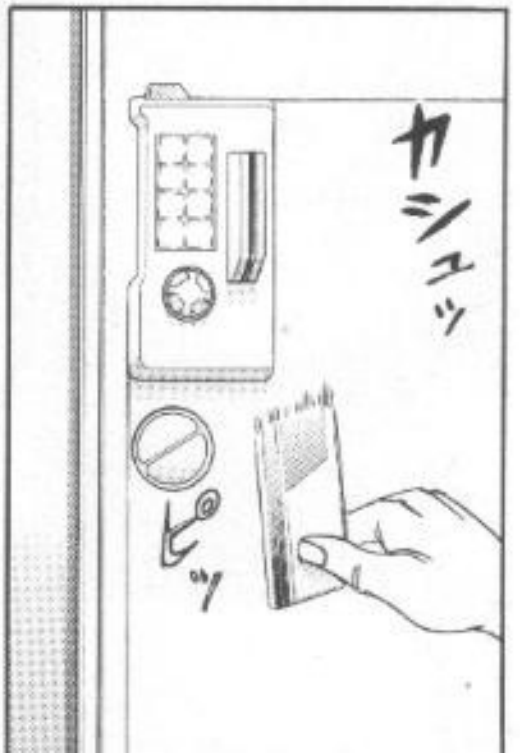
ひ…酷い……
カチャ
カチャ
おい
いいぞ
えっ!?
ガラッ
へへへ
もう
いいのかよ

一人3万だぞ
忘れんなよ
わかってるよ

イヤ……
やめて……
イヤアアアアア


ゴーン

カツーン
カツーン


カシュッ
ピッ

アキ……

こんな事になってしまった…
僕はどうしたらいいんだ…
アキ……ゆるしてくれ
パキッ
えっ

ううっ
うう
ううう

ぴちゃ
ぴぶり

オイ こっちも しゃぶれよ
手ェ休めんじゃ ね——よ
んぐっ
ぢゅぅ
ぐぢゃ
ぐぢゃ

もっとケツの穴シメろよォ高けー金出してんだからよ——
ずぬっ
ぐぷっ
ぐぷっ
ずぬっ
ぐちっ
ぐちっ
ヨウコとやれるなんて夢みてーだよ

あぐゥ
ずぬっ
ずぬっ
づうゥ

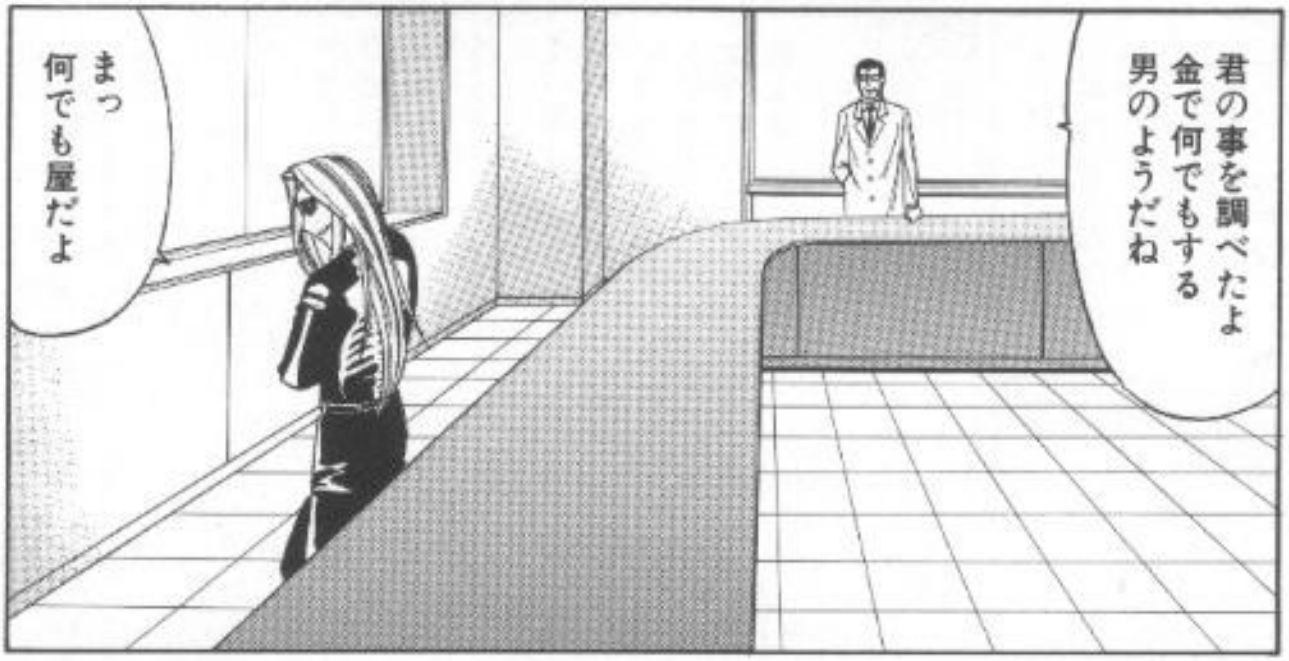
ヤベ出そう
イヤ……もうやめてお願い

イヤ……
ビュー
ビュー
ビュー
イヤアアアアア

アキ……
アキ
助けてエ
第7話☆END

誰のお出迎えも無しか…
んっ
ほうこりゃ驚いたあんた葵製薬所長の…
そうだ葵 吉昭だ
警備員でなく所長が出てくるとはね…
君と話がしたくてね
ほかの者には遠慮してもらったよ

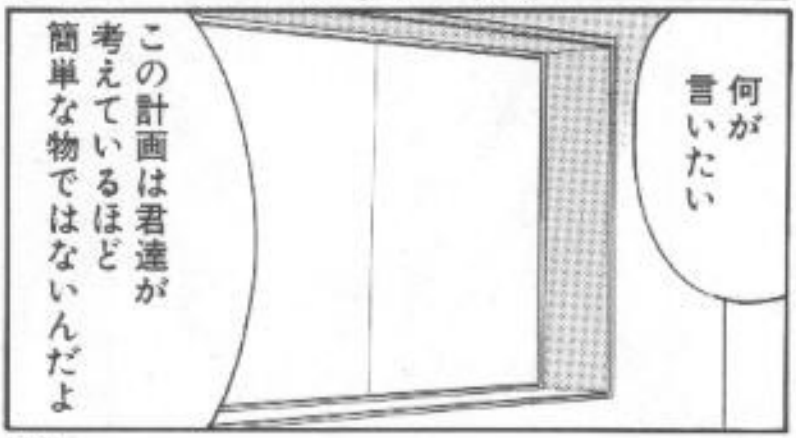
第8話 浮血の真実


君の事を調べたよ
金で何でもする
男のようだね
まっ
何でも屋だよ

君はアキ君を
狙っているようだが
依頼をしたのは
誰だね
言うと思うか

アキの母親
春美の双子の姉
一美ではないかね
さあな

前から捜して
いたんだよ
アキの父親ケイジが
どこかに逃がして
しまってね
しかし
生きていたとは
うれしい


何が
言いたい
この計画は君達が
考えているほど
簡単な物ではないんだよ

寝る前にお前のオヤジさんが言ってたよ
アメリカの会社と日本の厚生労働省との計画なんだと
俺の細胞を調べればいろんな病気をなおせて世界中の人を救えるんだそうだ
あの状態から目を覚ますなんて血液に不凍液でも入れたのか？しかし……

教えてくれ俺は一体何なんだ
玲瓏寺には何が起きてるんだ
……
驚くなよお前の一族は……

純粋な細胞分裂をする
システム遺伝子を
持っている一族ゥ

あんたのガキが言ってた
老化しない遺伝子情報
とかいうヤツか
正確に言うなら
老化にも関係しているが
細胞分裂の回数が
決まっていないんだ

胎児の細胞は
60回ほど分裂する
力を持っている
つまりそれが終れば
DNAはちゃんと
コピーされなくなる
それが老化だ

じゃヤツは
ず〜〜っとあのまま
生き続けるって事か
そう
理論上 彼は
不死の人間だ

そりゃすげぇ
死なねー人間たぁ
大発見だなァ
いや
そうじゃない
君にも
おこる事なんだよ
はあ？
それは…

俺の体はガン細胞化
しているゥ

ガンというのは
細胞分裂が止まらず
おできのようになる病気だ
それに血液に乗って
いたる所に転移してしまう
だから治せないんだ
だがお前の遺伝子には
それを制御する情報が
入っているんだ
あの交通事故で
死ななかったのは
そのためだ

俺の体は……

どうやっても死なないという事か？
そんな事はない彼も普通の人間だよただ少々の病気 ケガでは死なんよ

それをきいて安心したよ

だから手を引いてくれんか国家プロジェクトなんだよ
へっただの銭儲けじゃねーかきいてあきれるぜ

ケガではすまんぞ

上等だよ

アキ この町を出ろ
でないとお前の
オヤジさんと同じに
なるぞ
父さんと

俺も自殺すると
言うのか
玲瓏寺の血だよ
お前に親戚が
いないのはナゼだと
思う
母さんは駆け落ち
だからって……
違う

子供ができると
子と母以外を
殺してしまうんだ
何百年も
それが続いている
近親交配を
するのもそのためだ
より純粋な血を
残すために……

もしこの町を
出るのに迷いが
あるなら
自分の目で見てこい
お前が
初めて行った
あの山に
あの穴の地下に……

お前の先祖が
まだ生きている

ガチャ
アキ
入るわよ

どうしたの
電気もつけないで
せっかく
退院したのに
母さん
全部
きいたよ
……
そお
アキはこれから
どうしたい？
わからない
どうしたら
いいの 母さん
アキが決めて
母さん アキの
言う事なら
何でもする
今の母さんには
なぐさめてあげる
事しかできないから

んっんっ
くぽ
んふ…んん
くぽ

んっ
んっ
くちゅ
くちゅ

ぬぢ
んんんん

ぬちゃ
くちゃ

母さん
いい……
ええ
いいわ
きて…
んっ
ん～～～～っ
はあっ
いい…
いいわ
んっ
んっ

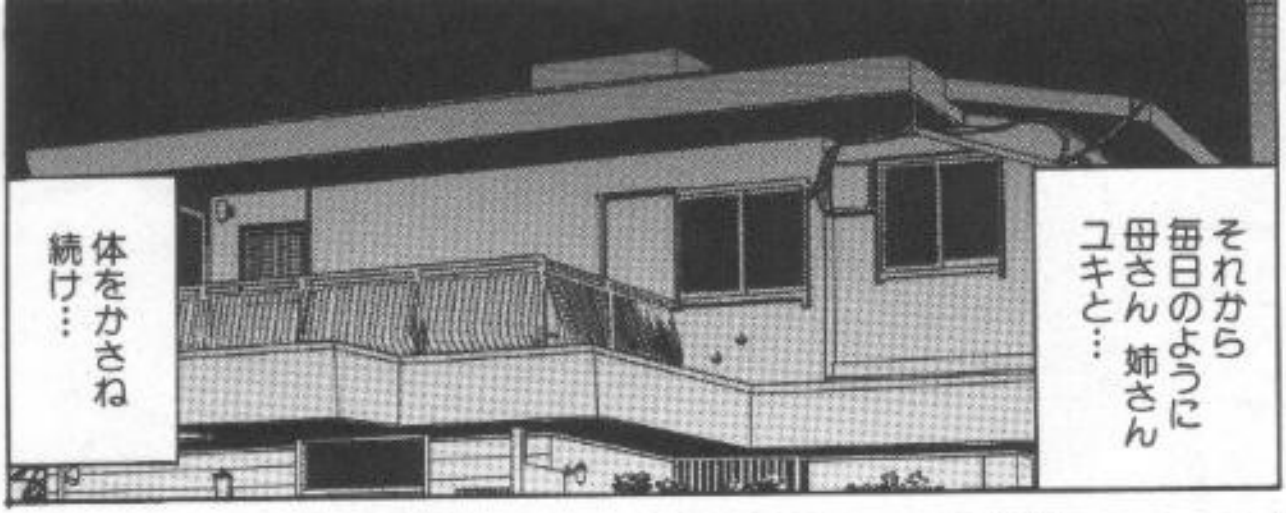
いいのよ…もっと
もっと母さんの中に
入ってきてェ
ぬちゅ
ぬぢゅ
ぬちゅ
母さんの
子宮を
ついてェ
ああ…アキ
アキィ
ぬちゅ
もっと…もっとォ
いいの…母さん
気持ちいいのォ
くちゅ

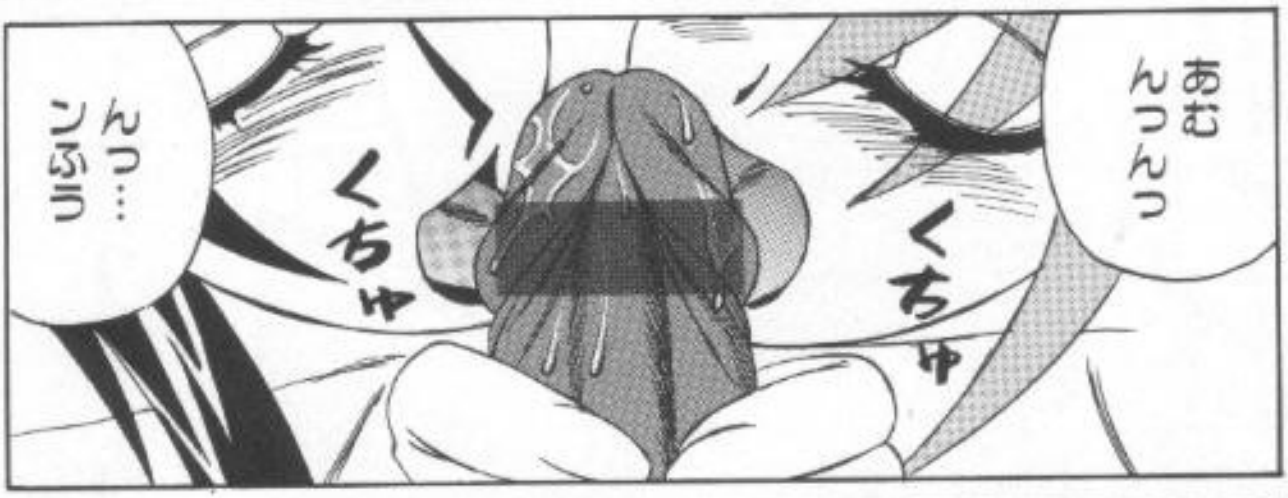
ぱっ
あうう
ぐぢゃ
ぱっ
ンあああ
母さん
もお…
イク？
いいのかよ
中に出して

母さんの中に
射精してェ
しぶ
しぶ
子宮の奥に
精液出してェ

ビク
ビク
おくうううう

あっ…
出てる
ビュ
出てるゥ
すごくいっぱい
出たね…
アキの精子が
子宮の中に
入ってくるのがわかるわ
うふふふ
ずるい
どろっ
あふれて
きちゃう…


それから
毎日のように
母さん 姉さん
ユキと…
体をかさね
続け…


あむ
んっんっ
くちゅ
くちゅ
んっ…
ンふう

アキ兄ちゃん
気持ちいい？
おいしィ
アキ
おいしいよォ
くぷ
くぷ
入れていい
アキ兄ちゃん
ユキ もう
がまんできない

んんんん〜〜〜
でも…気持ちいいの…いいのォ——
ユキ出すよ
うんいいよ出してェ
あっ…
あつゥ——い
きっ…きつい…
きついよォ——

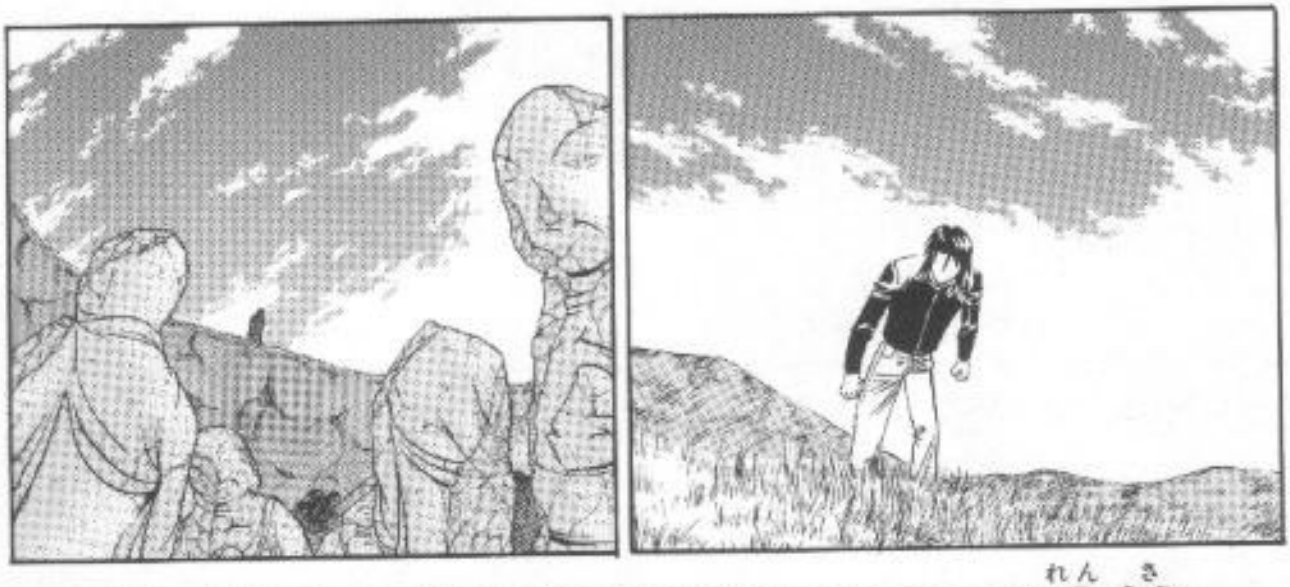
はううう…
ずるぅ
とろぉ
んっ
あンっ
あうぅ
いいわアキ
すごくいい
もっとチ●ポで
ついてェ
んんっ

ああ アキ
お姉ちゃん いいの
ぬちゃ
もっと…もっと
オマ●コしてェー
チ●ポいい
いいの
もっと
もっとチ●ポォ
ダプ
ダプ
ねえアキ
この町を出よう
誰も知らない所で
くらそう
お姉ちゃん
アキのためなら
何でもしたげる

アキが望むなら
姉ちゃん アキの子供
生んであげる
姉さん
好き…
好きなの
アキの事が
好きなの
あっ……

ああああ

俺は逃げないよ…父さん



必ずこの俺が玲瓏寺の血の連鎖(れんさ)

9784873060972

ISBN4-87306-097-4

C9979 ¥848E

1929979008482

雑誌52250-97
定価：本体848円＋税
エンジェル出版